



2018年3月期
第1四半期 決算説明会

2017年8月7日

Important Notice to Recipients

Neither SoftBank nor any of its applicable affiliates makes any representations or warranties, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information in this presentation (this “**Presentation**”), other than the historical financial performance set forth herein. The Presentation speaks as of the date hereof. SoftBank and its respective affiliates, members, partners, stockholders, managers, directors, officers, employees and agents do not have any obligation to update any part of this Presentation.

Performance and other information herein about selected past SoftBank investments is intended to illustrate SoftBank’s experience making investments. The past investments presented herein were selected by SoftBank on the basis of subjective criteria, and different persons might reach different conclusions as to individual investments’ relevance and about which investments to include in such selection.

Certain information herein refers to certain trends in the technology and related industries. There can be no assurance that such trends will continue. The investments included in this Presentation are not, and do not purport to be, representative of all investments, or all types of investments, previously made by SoftBank. The performance of these selected investments is not indicative of future performance.

Certain information contained herein constitutes “forward-looking statements,” which can be identified by the use of terms such as “may”, “will”, “should”, “expect”, “project”, “estimate”, “intend”, “continue”, “target” or “believe” (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. In particular, this Presentation contains certain information regarding SoftBank’s expected organization, operations and activities in the future. This information has been set out for illustrative purposes only, and does not constitute forecasts. This Presentation has been prepared based on SoftBank’s current view in relation to future events and various assumptions, including assumptions with respect to events that have not occurred, any of which may prove incorrect. While based on assumptions that SoftBank believes are reasonable under the circumstances, they are subject to uncertainties, changes (including changes in economic, operational, political, legal, tax and other circumstances) and other risks, including, but not limited to, broad trends in business and finance, tax and other legislation affecting SoftBank, all of which are unknowable and beyond SoftBank’s control and any of which may cause SoftBank’s organization, operations or activities to be materially different from those described in this Presentation. Nothing contained in this Presentation may be relied upon as a guarantee, promise or forecast or a representation as to the future. Recipients should not rely on any forward-looking statements.

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとしします。



連結業績



連結業績

(億円)

2016年度
Q1

2017年度
Q1

増減額

増減率

売上高

21,265

21,861

+596

+3%

調整後
EBITDA

6,784

7,001

+217

+3%

営業利益

3,192

4,793

+1,601

+50%

当期純利益

2,542

55

-2,487

-98%

アリババ売却益 (16年度Q1)
デリバティブ損失(17年度Q1)を除く

1,139

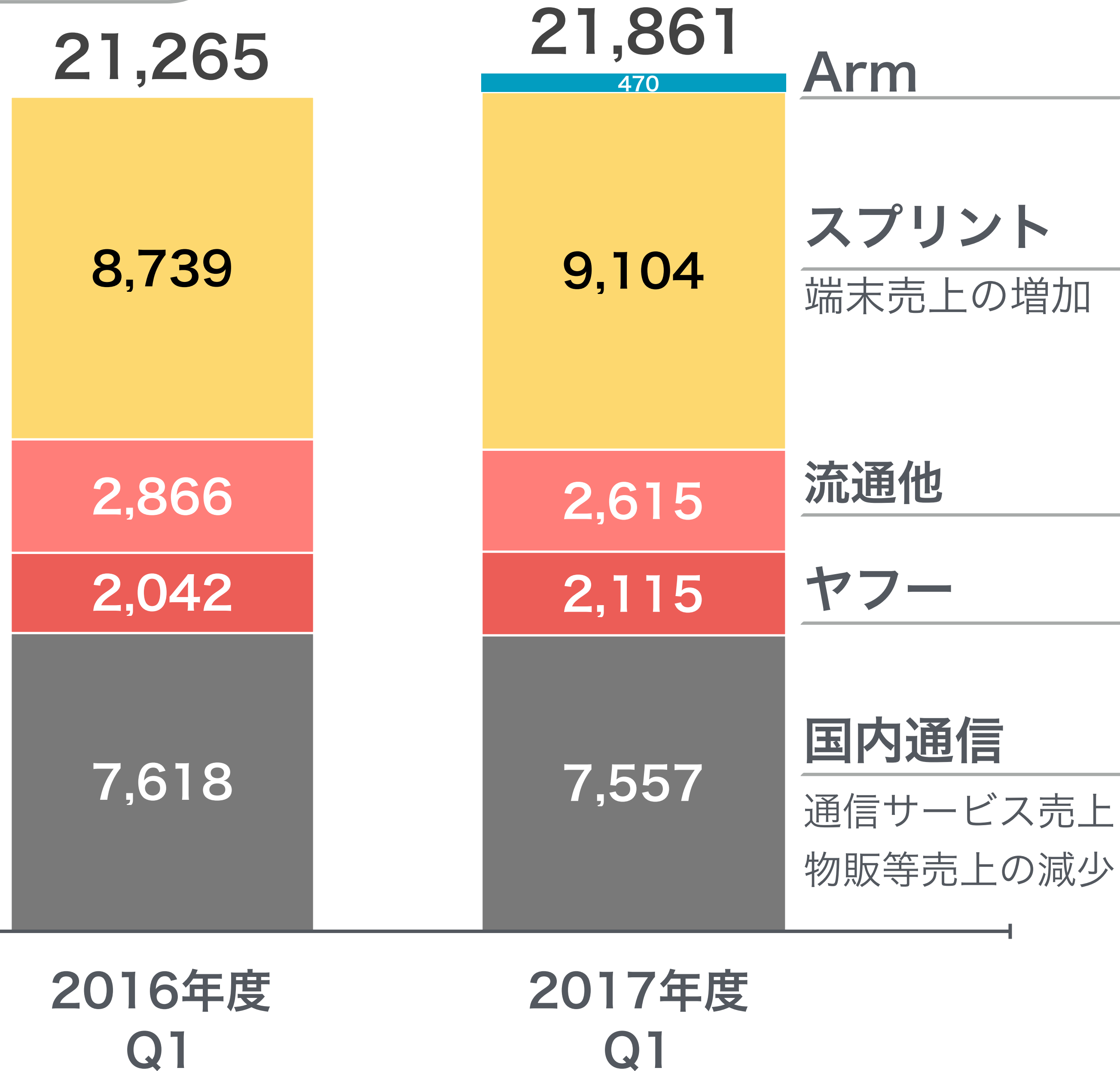
1,833

694

+61%

売上高

(億円)

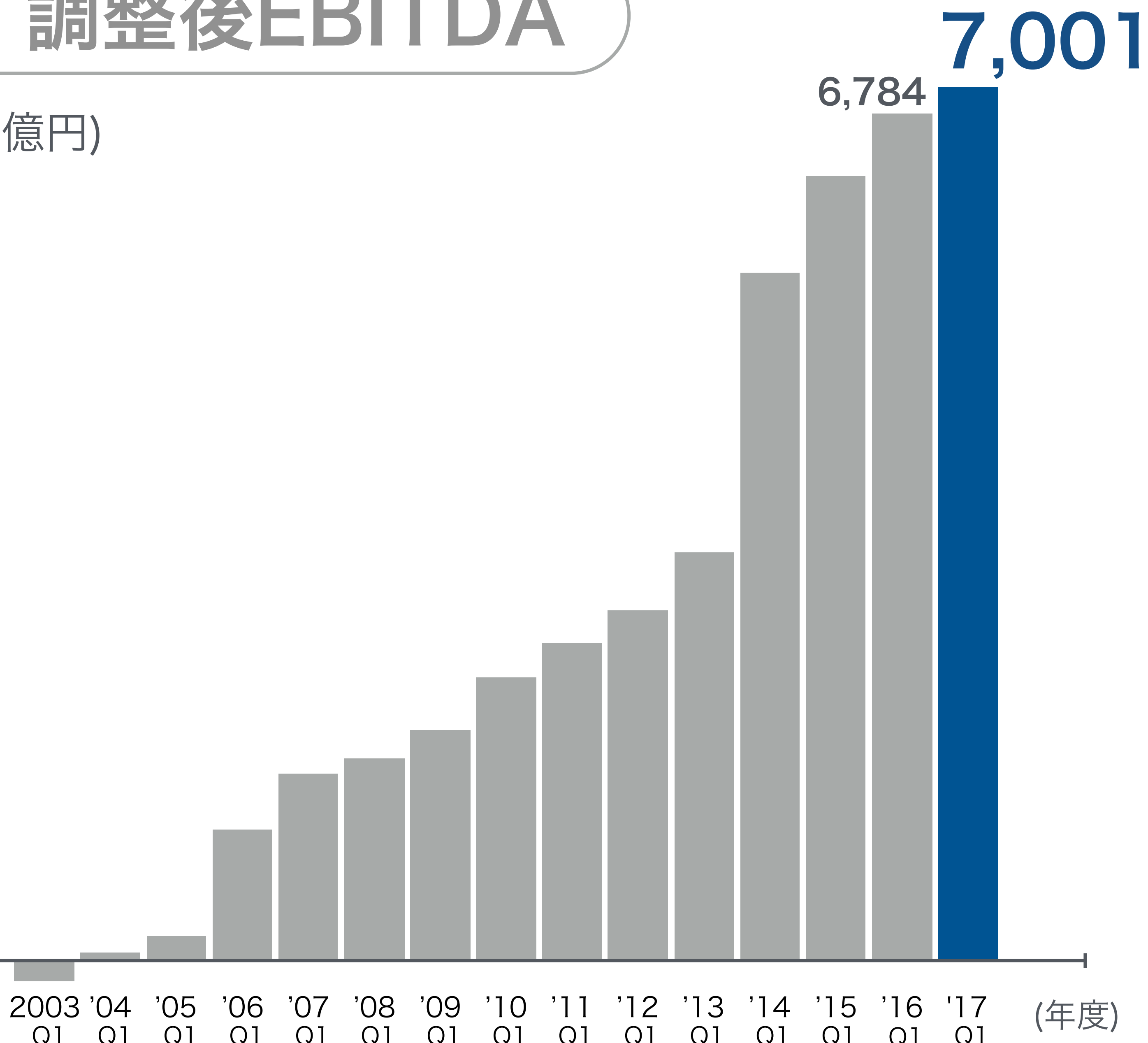


3%増

* 流通他 = 流通 + その他 + 調整額

調整後EBITDA

(億円)



3%増

2003 Q1 '04 Q1 '05 Q1 '06 Q1 '07 Q1 '08 Q1 '09 Q1 '10 Q1 '11 Q1 '12 Q1 '13 Q1 '14 Q1 '15 Q1 '16 Q1 '17 Q1 (年度)

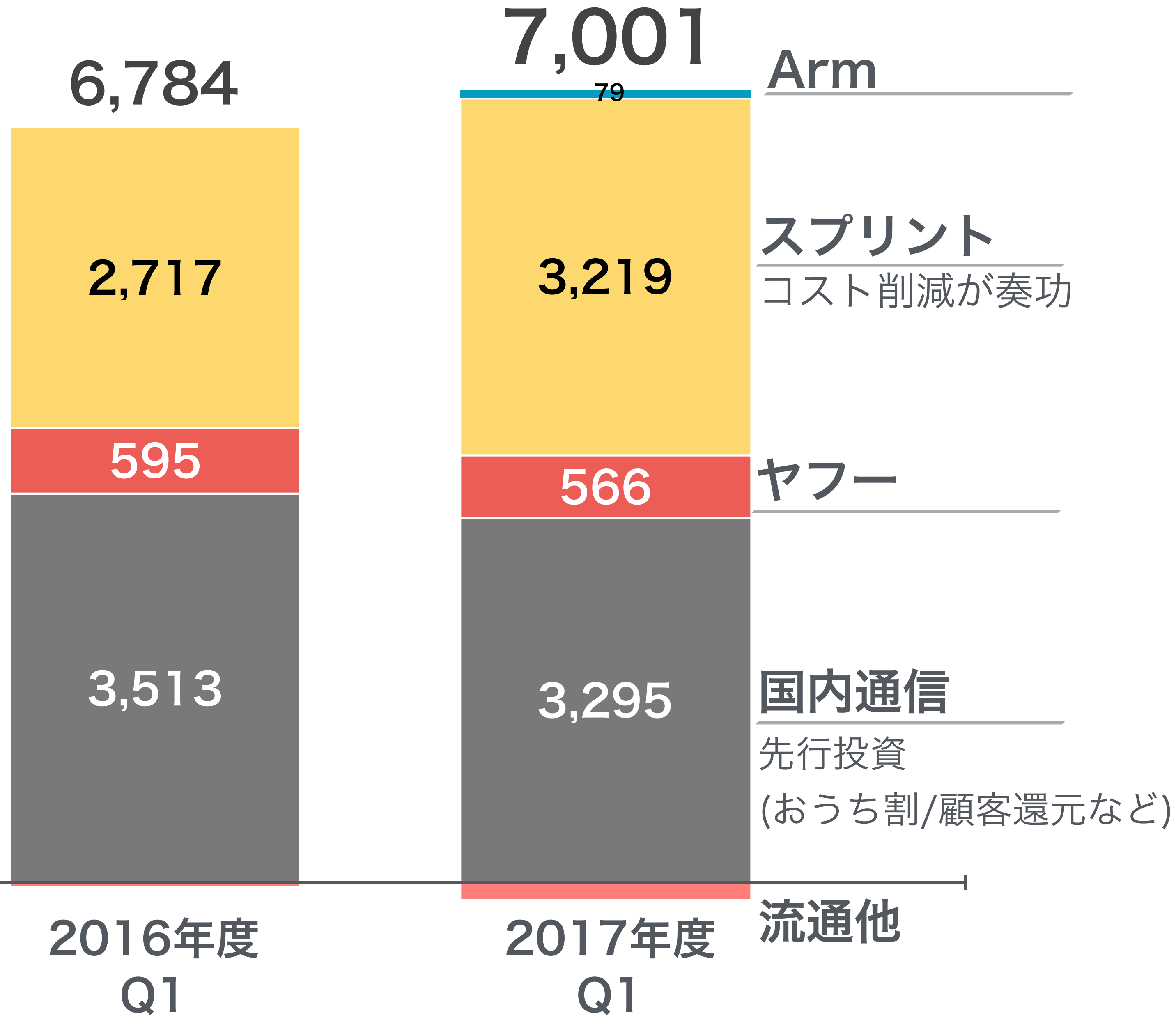
日本基準

国際会計基準

* 2013~2014年度：ガンホーおよびスーパーセルの影響額を控除 5

調整後EBITDA

(億円)



3%増

* 流通他 = 流通 + SVF + その他 + 調整額
SVF : SoftBank Vision Fund

営業利益

(億円)

4,793

50%増

3,192

2003 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 (年度)
Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1

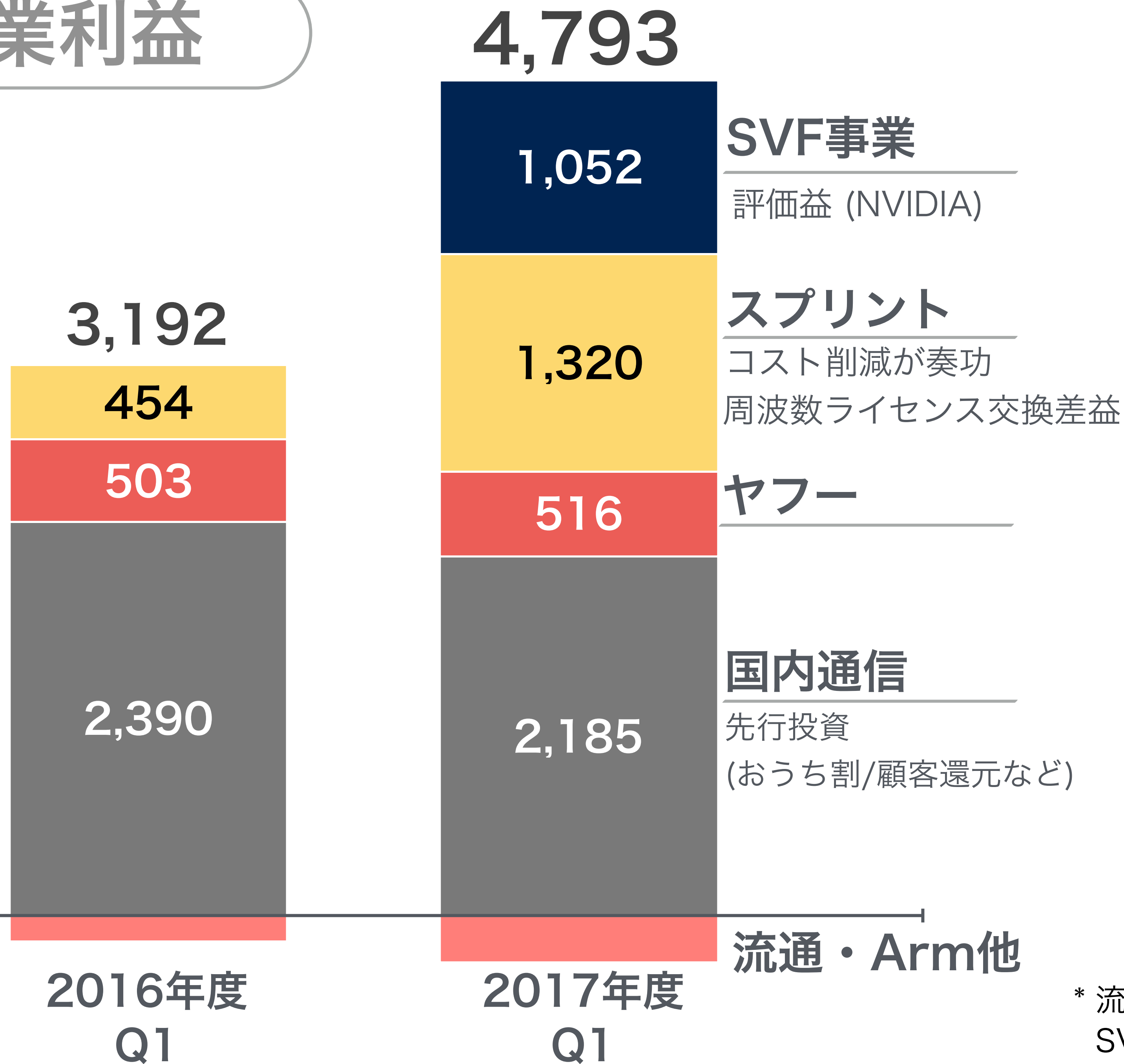
日本基準

国際会計基準

* 2013~2014年度：ガンホーおよびスーパーセルの影響額を控除 7

営業利益

(億円)



50%増
(SVF除く 17%増)

* 流通・Arm他 = 流通 + Arm + その他 + 調整額
SVF : SoftBank Vision Fund

当期純利益

(億円)

2,542



98%減

55



2016年度
Q1

2017年度
Q1

当期純利益

アリババ売却益、
デリバティブ損失除く

(億円)

61%増

アリババ売却益

1,403

1,139

1,833

-1,778

55

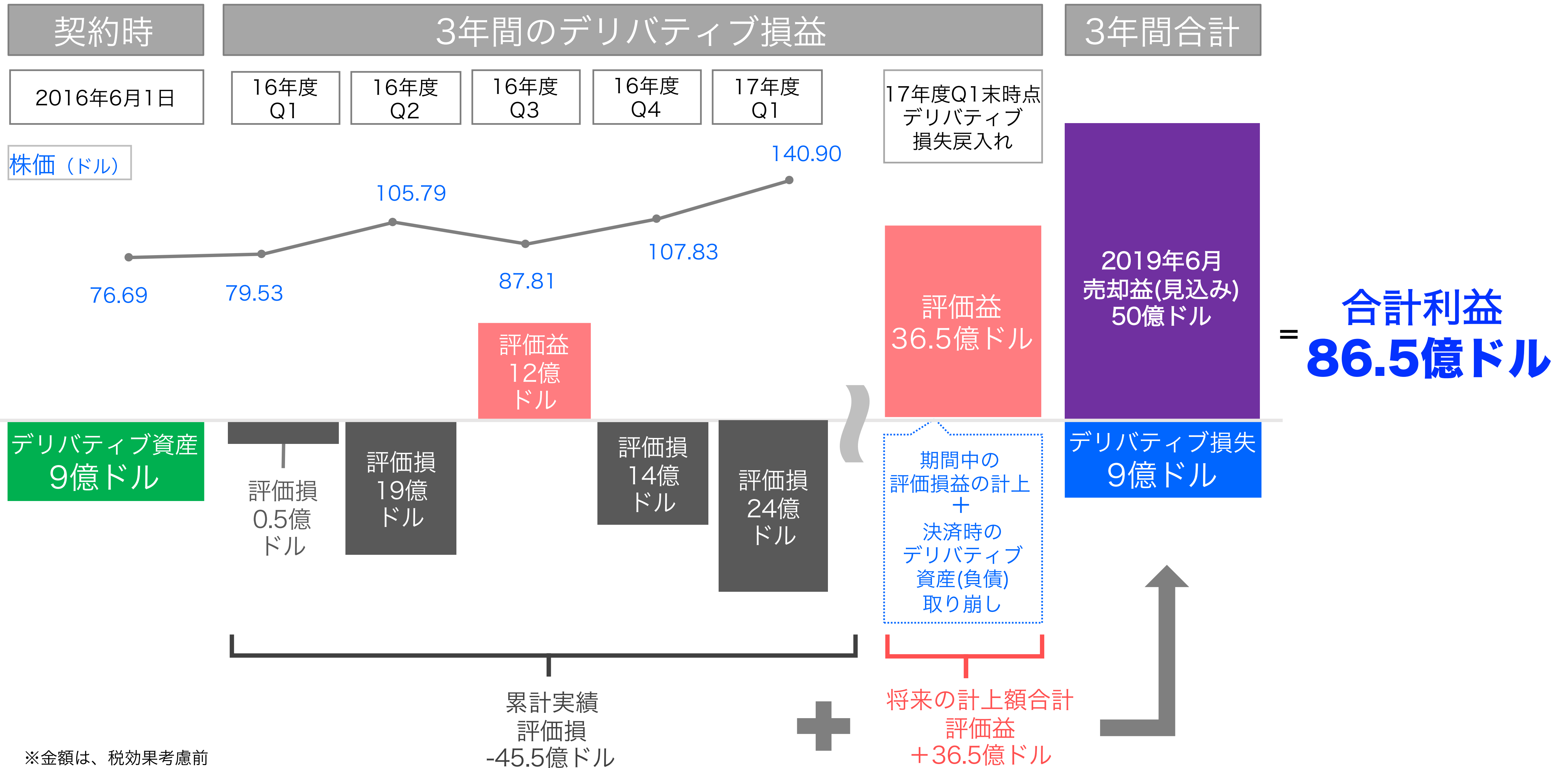
アリババ株資金化に係る
デリバティブ損失

2016年度
Q1

2017年度
Q1

(注)アリババ売却益、
デリバティブ損失は税効果考慮後
親会社の所有者に帰属する純利益

アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ損益



※金額は、税効果考慮前

財務の状況

国内通信事業

＝ SoftBank

(Sprint買収資金を含む)

純有利子負債 3.5兆円

調整後EBITDA 1.2兆円

＝ 2.9倍

その他事業

arm

Sprint



Alibaba Group
阿里巴巴

YAHOO!
JAPAN

など

純有利子負債 4.4兆円

保有株式時価 20.4兆円

＝ 21%

純有利子負債 2017年6月末時点、調整後EBITDA 2017年度Q1の直近12カ月、
保有株式時価 2017年8月4日時点、為替 1ドル=111.00円(2017年8月4日)
ハイブリッド債(2016年9月、2017年7月発行)の資本性を50%考慮後
SBGブリッジ投資回収考慮後(SVFへの移管が決定または当社がSVFへの移管を計画しているものを含む)

米ドル建てハイブリッド債(45億ドル)

1. 格付機関から調達額の50%を資本認定

2. 全額資本として計上

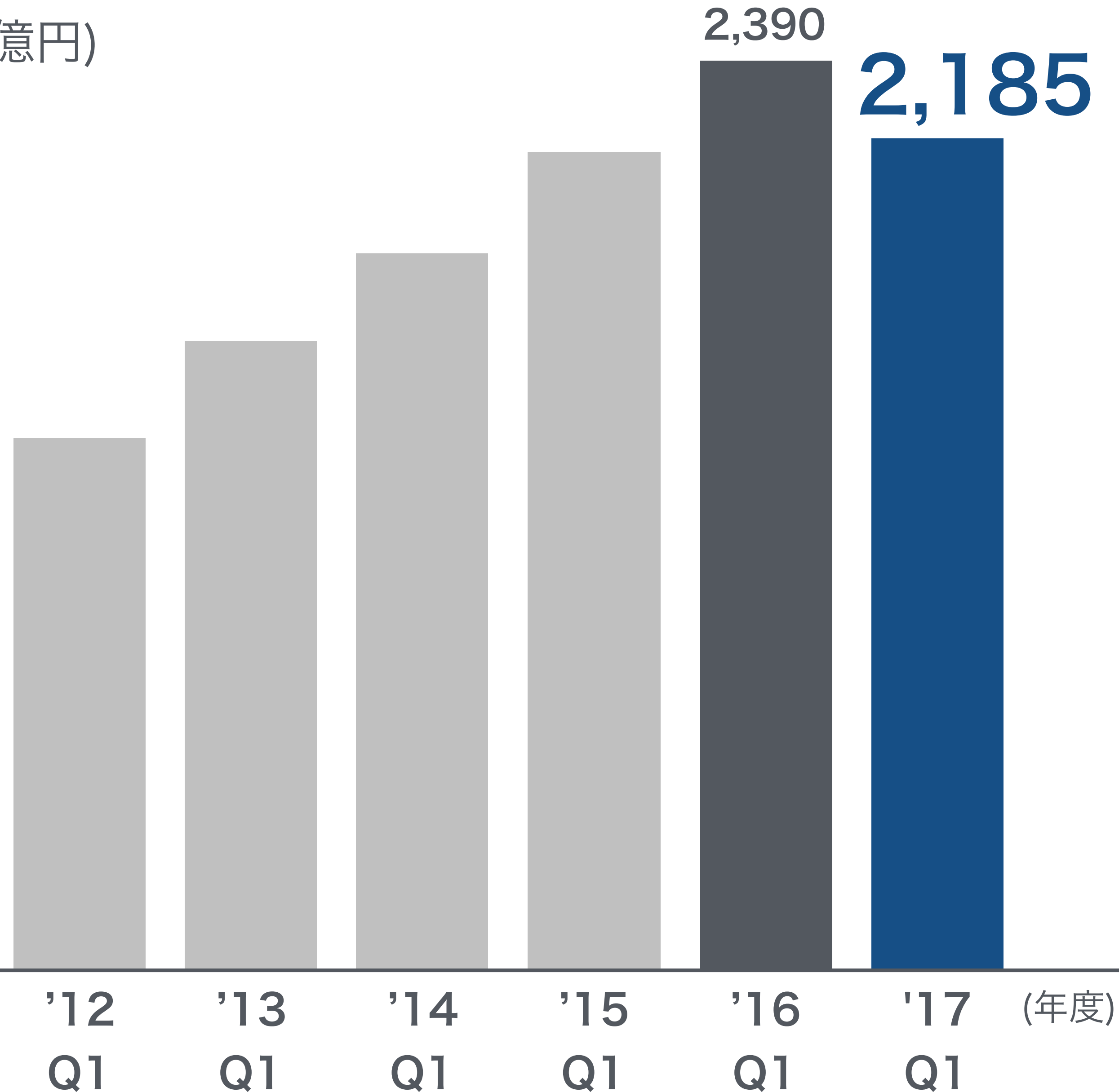
3. 財務安定性を強化

SoftBank

国内通信事業

国内通信 営業利益

(億円)

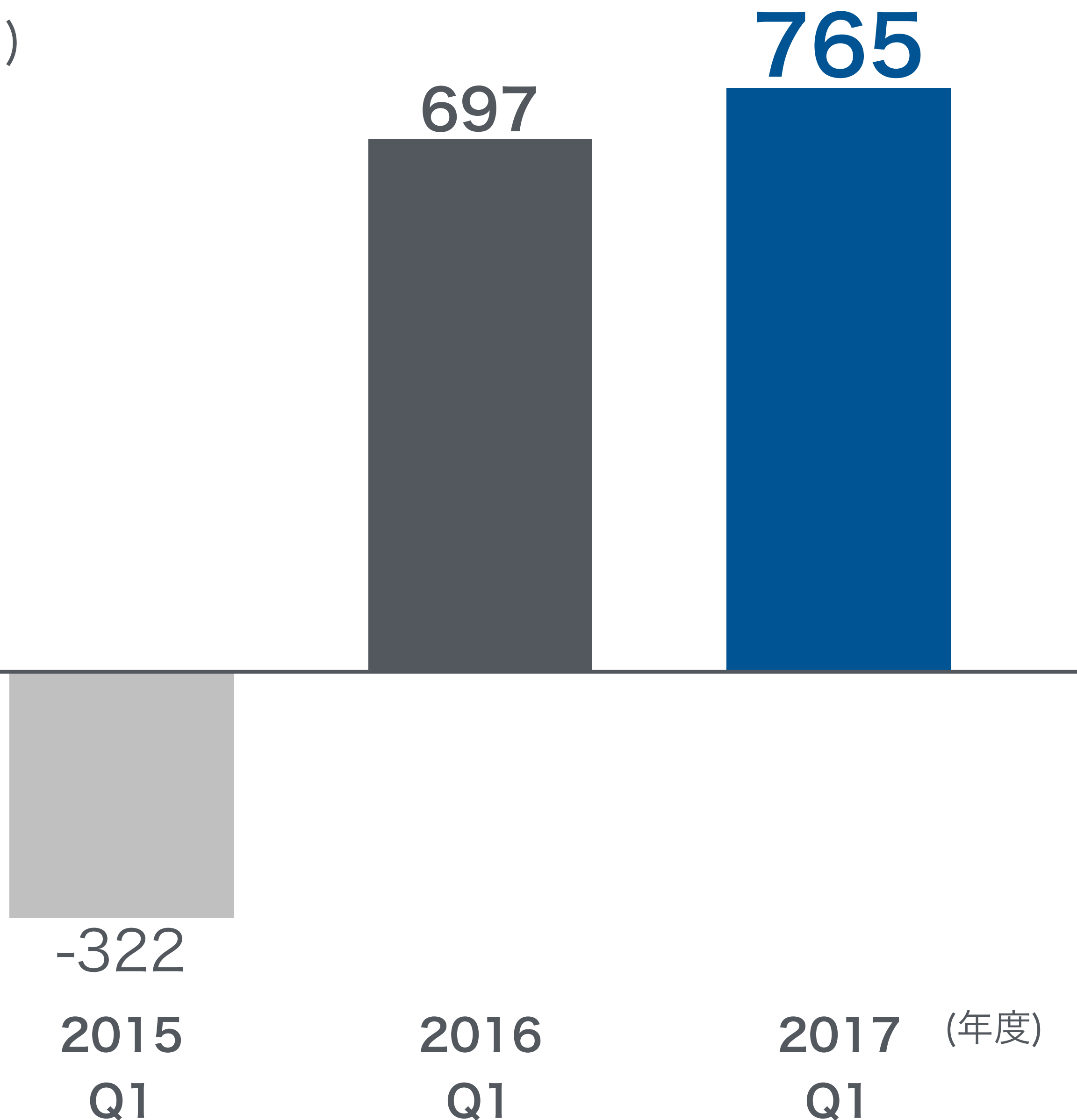


先行投資により
9%減

* 2011年度：日本基準、2012～2017年度：国際会計基準
2014年度以降：国内通信事業
2013年度以前：移動通信事業 + 固定通信事業 +
ブロードバンド・インフラ事業

国内通信 フリーキャッシュフロー

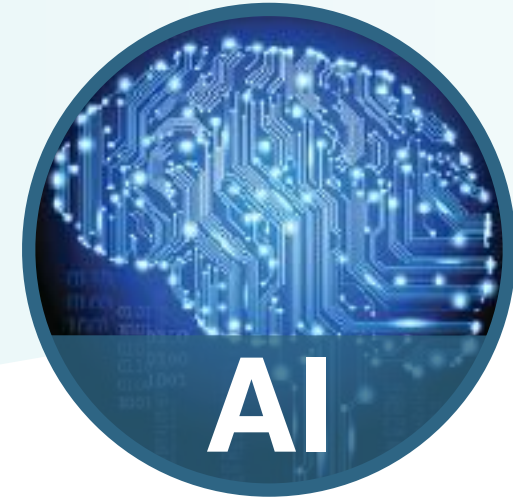
(億円)



10%増

* フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー
* 国際会計基準 ソフトバンクグループ(株)との内部取引を除く

国内通信 成長戦略



SoftBank
Y!mobile



スマホ・光拡大

新領域を拡大

顧客基盤の拡大

Y! mobile

**おうち割
光セット**

顧客還元

ギガモンスター

SUPER! FRIDAY

スマホデビュー割

長期継続特典

ヤフーとのシナジー*

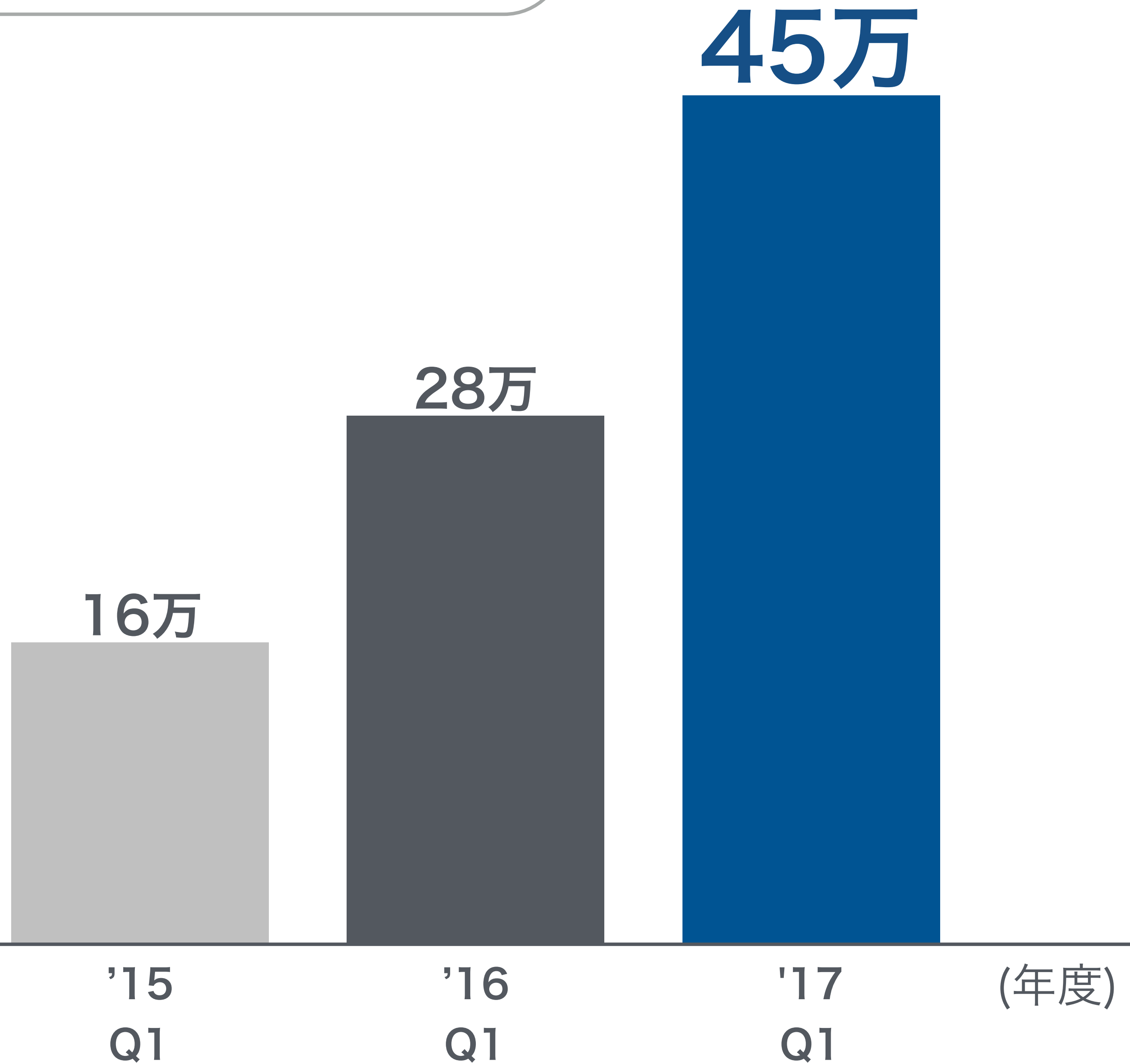
YAHOO! JAPAN ショッピング

毎日ポイント10倍

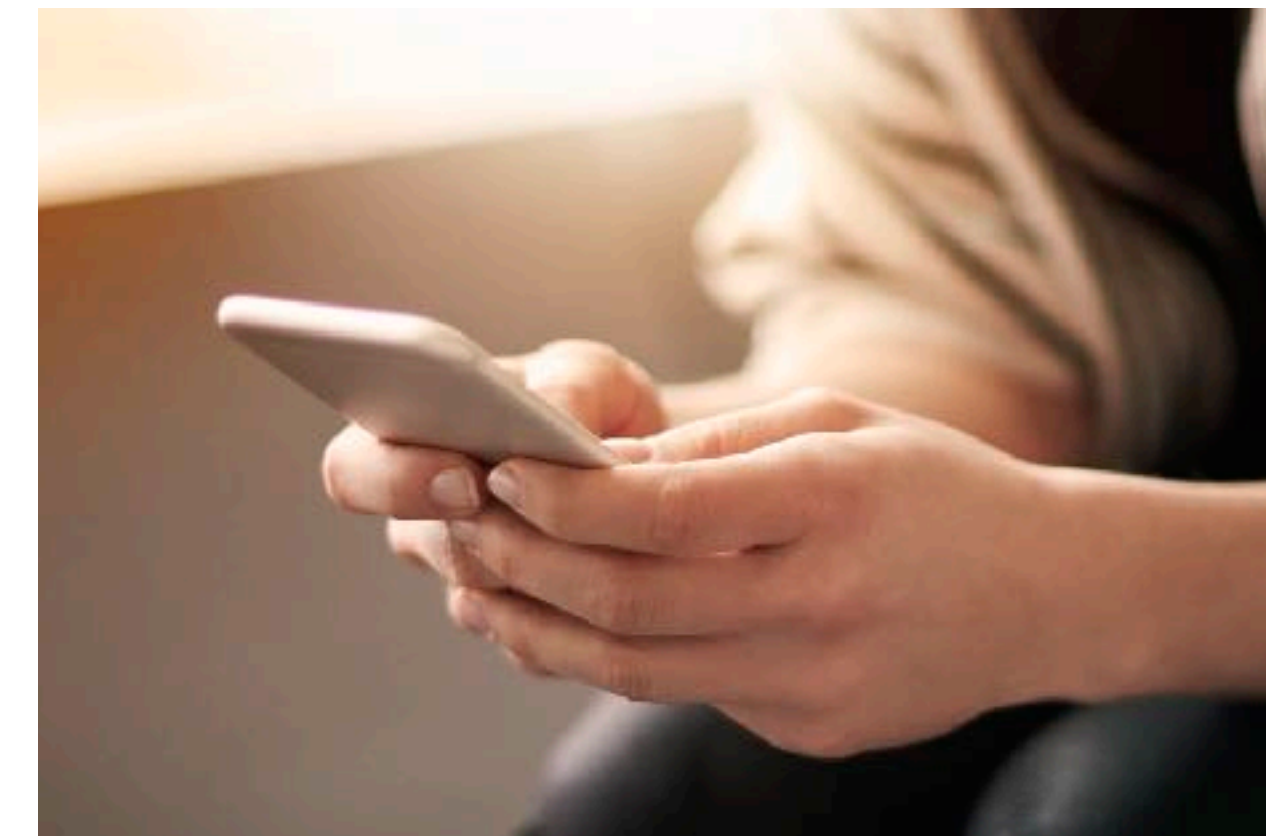
YAHOO! JAPAN プレミアム

全特典 使い放題

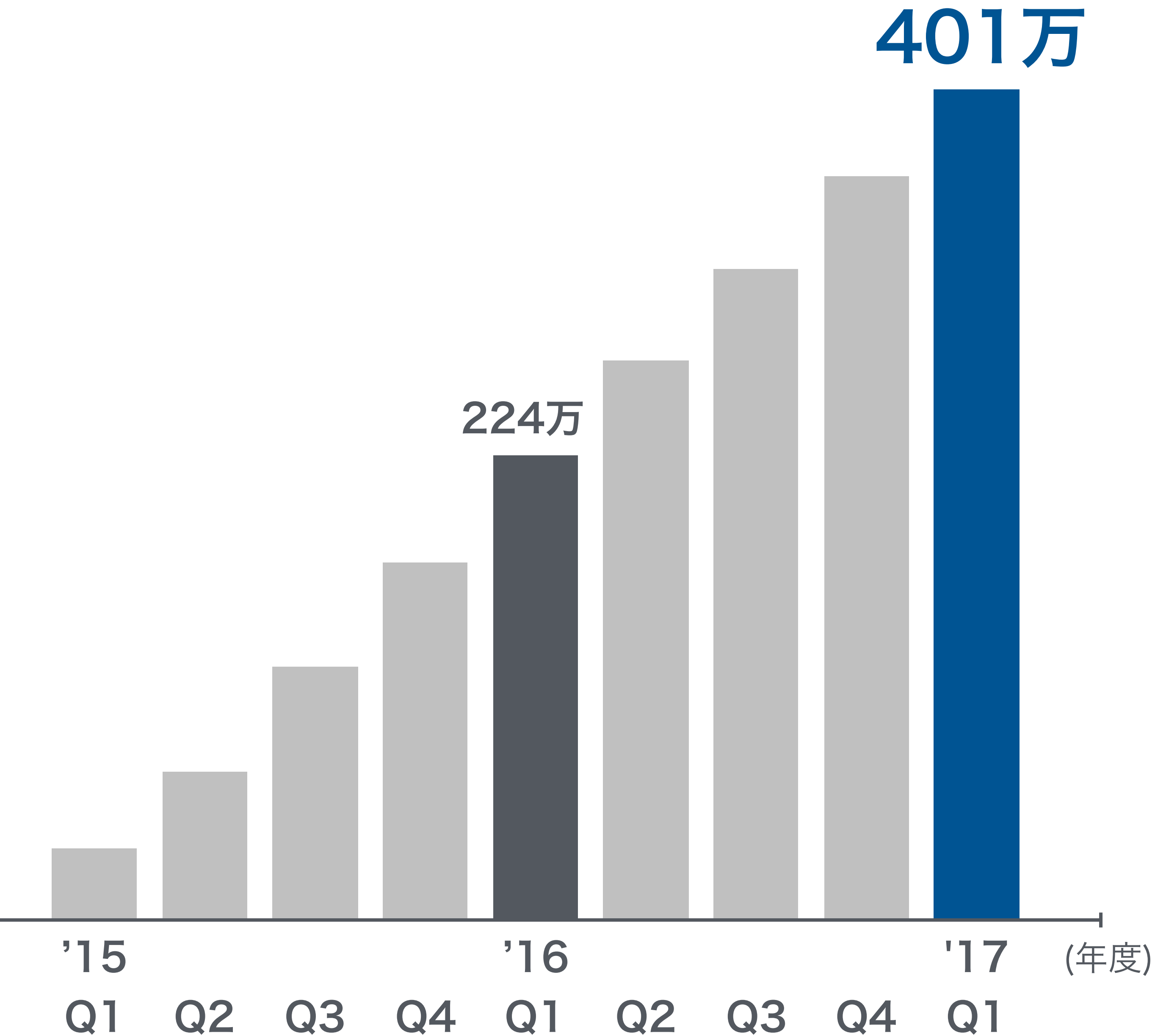
スマホ 純増数



61%増



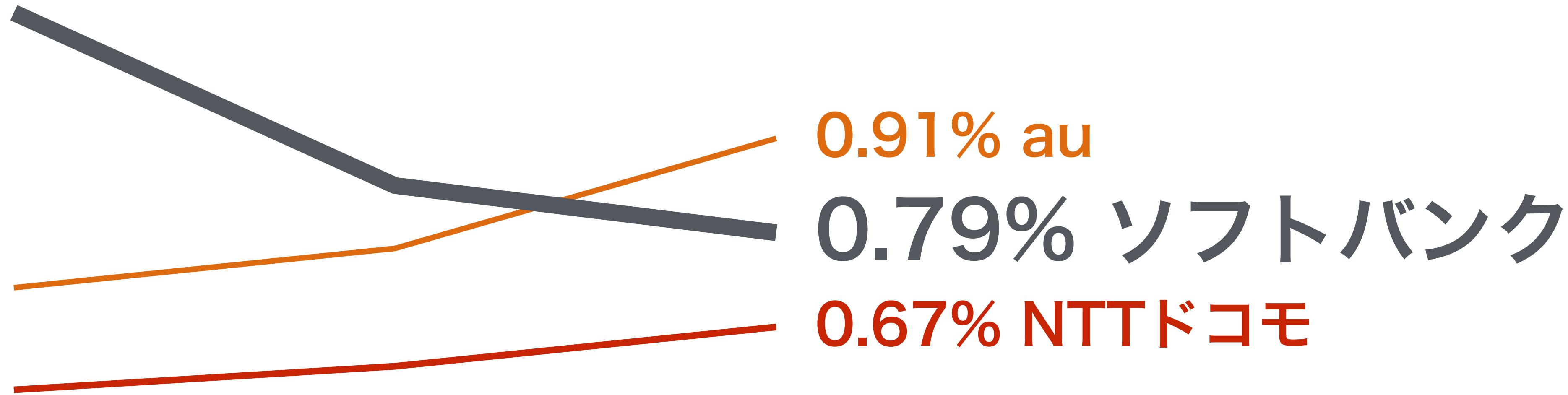
SoftBank 光 累計契約数



79%増

SoftBank 光

解約率 (モバイル)



大幅に改善

'15
Q1

'16
Q1

'17
Q1

(出典) 各社開示資料より当社作成

NTTドコモ : 解約率

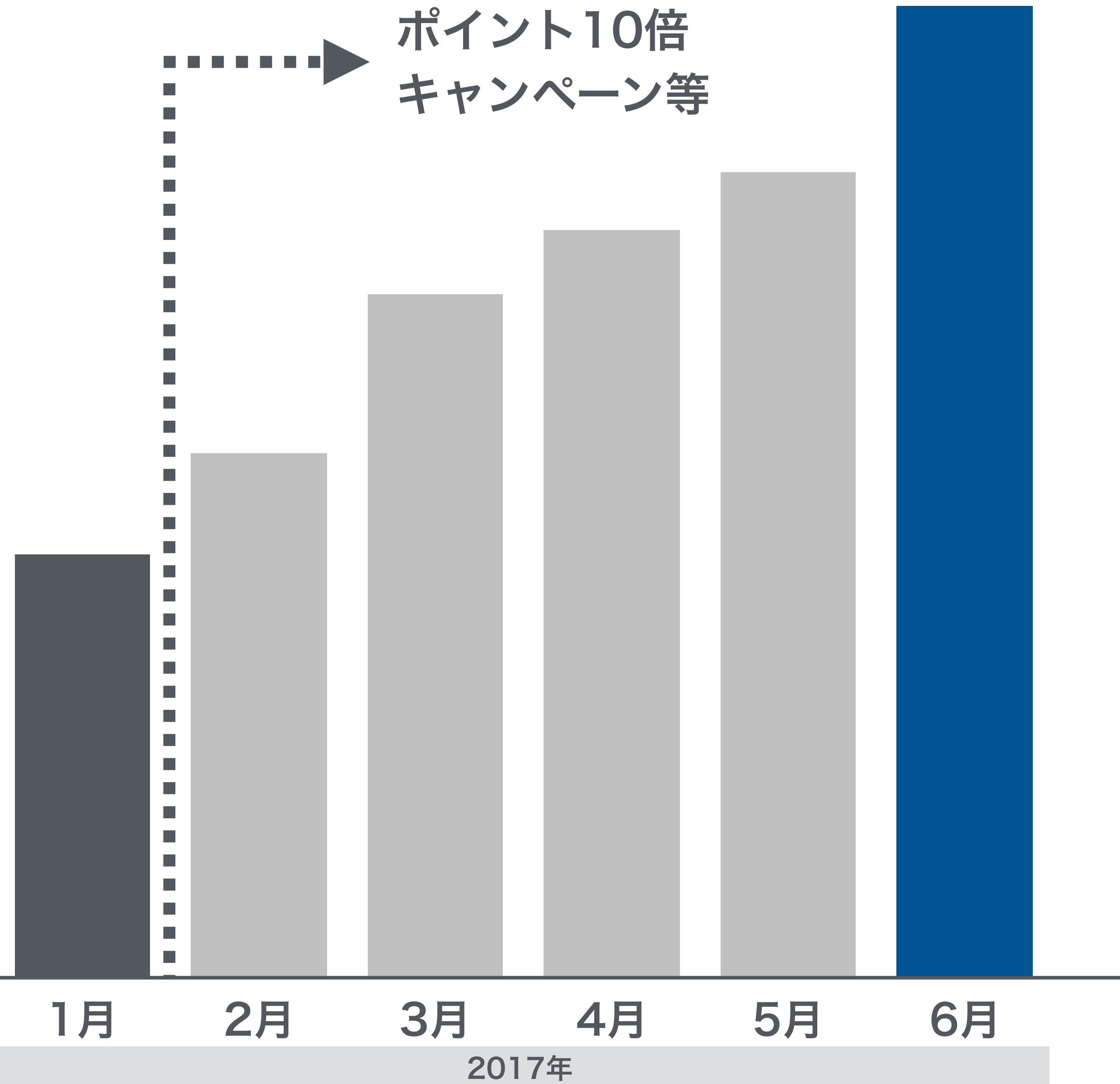
au : パーソナル事業 解約率

ソフトバンク : ハンドセット解約率

Yahoo!ショッピング購入者数

* 「SoftBank」
「Y!mobile」ユーザーの合計
* スマートログイン経由

ポイント10倍
キャンペーン等



5カ月で倍増

月間100万人規模



最先端テクノロジー・ビジネスモデル

SoftBank



ビジネス拡大・進化



SoftBank World 2017

投資先とのシナジー創出へ



 SoftBank

wework



WeWork Japan

ワークスタイルを変革へ

1 先行投資を強化し成長戦略を推進

2 5,000億円台のFCF創出を継続

3 国内通信事業は減益 将来成長を重視
(前期比 最大-7%)

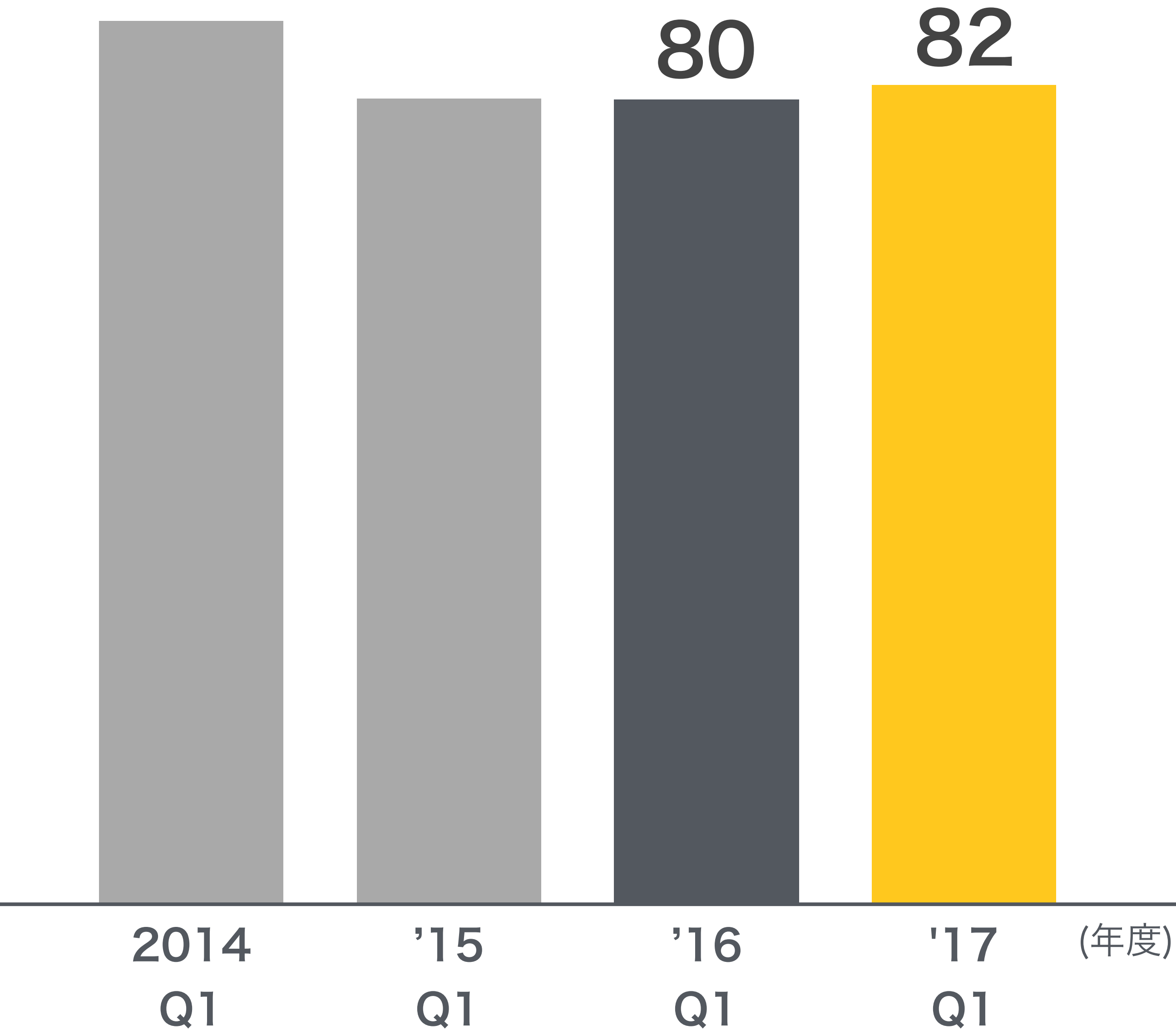
Sprint



売上高



米国会計基準 (億ドル)

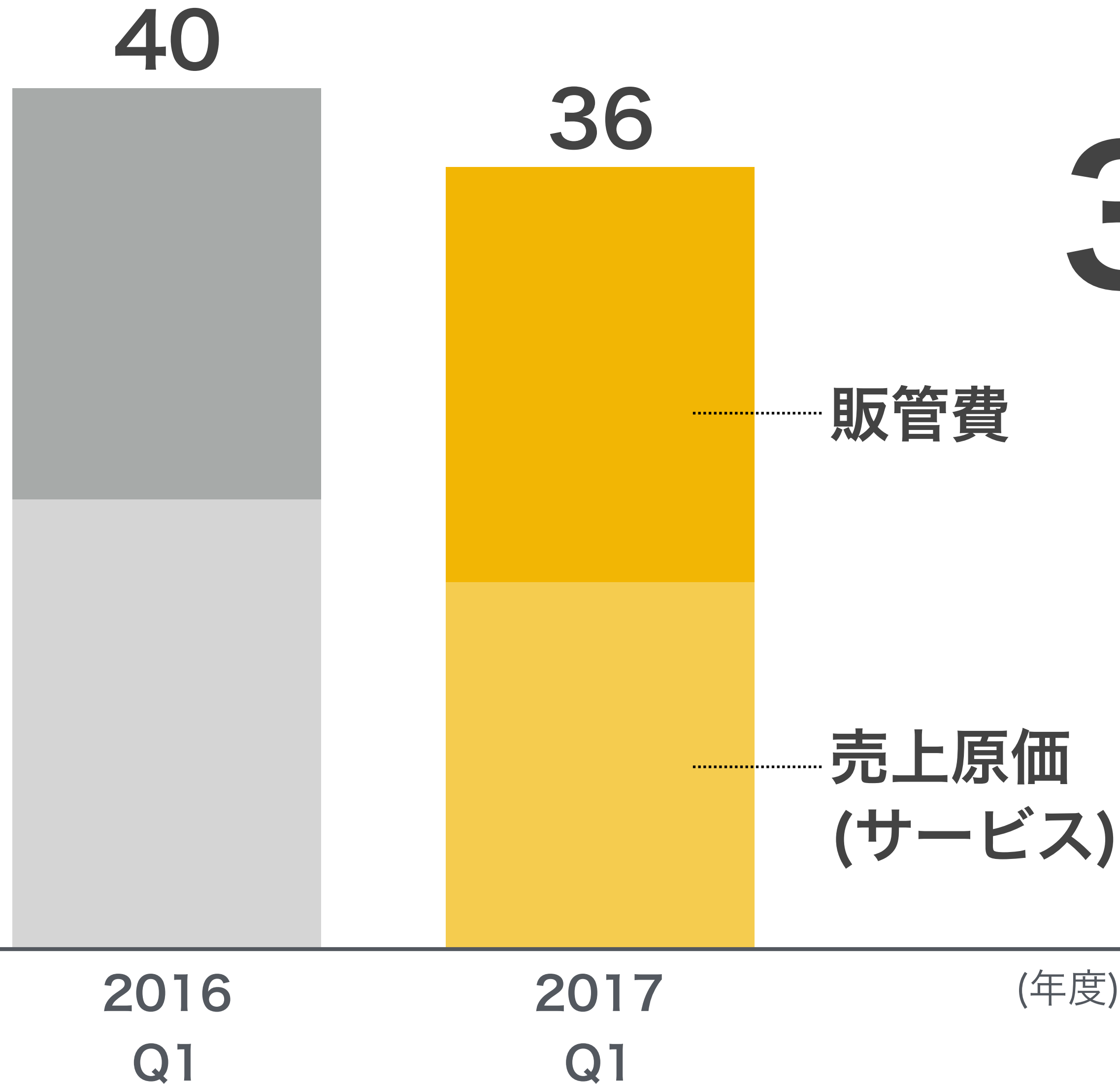


2%増

コスト削減



米国会計基準 (億ドル)



3.7億ドル削減

調整後EBITDA



米国会計基準 (億ドル)

ソフトバンク
グループ入り

14

29

4年で倍増

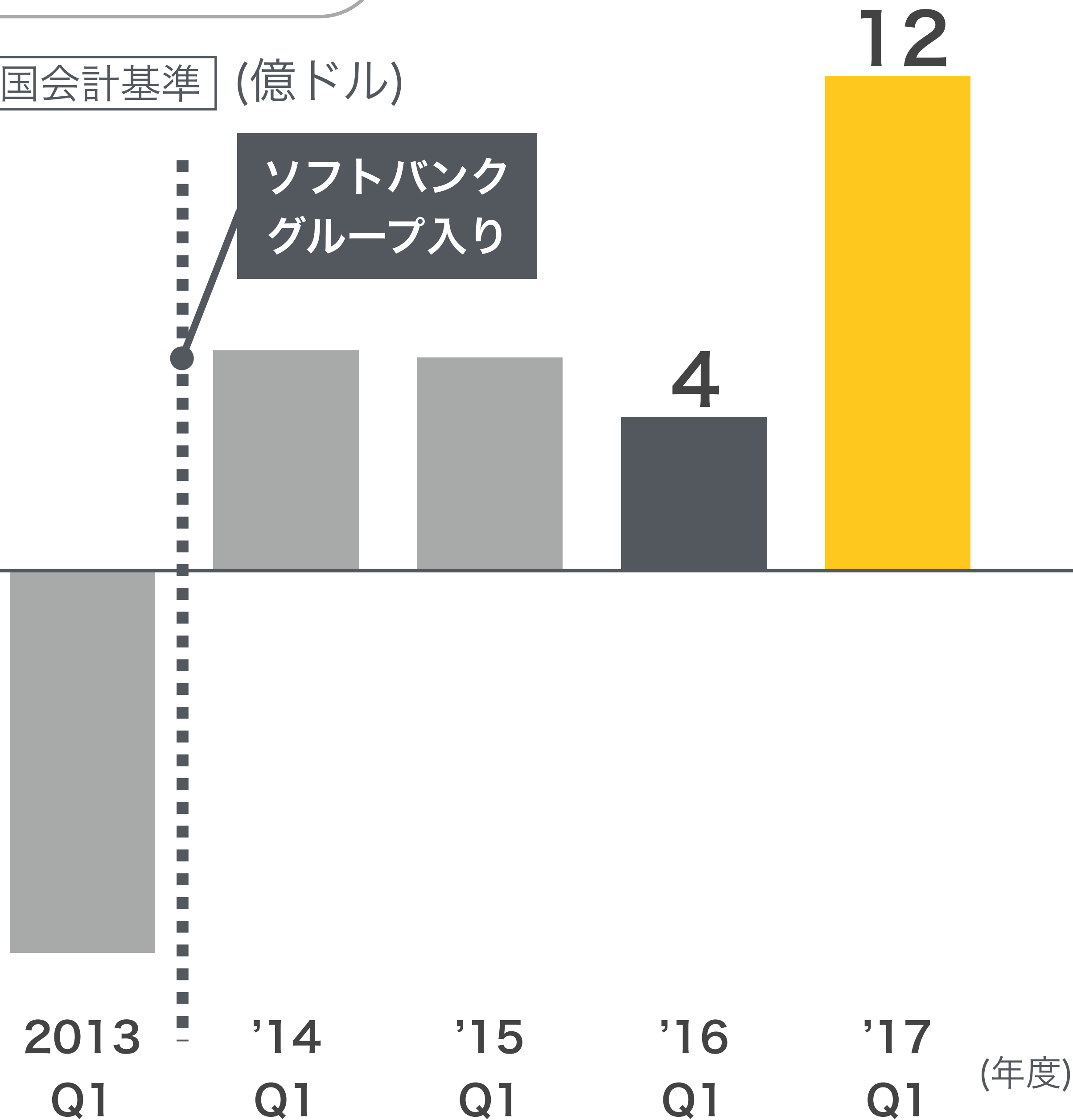
年度	調整後EBITDA (億ドル)
2013 Q1	14
'14 Q1	
'15 Q1	
'16 Q1	
'17 Q1	29

営業利益



米国会計基準 (億ドル)

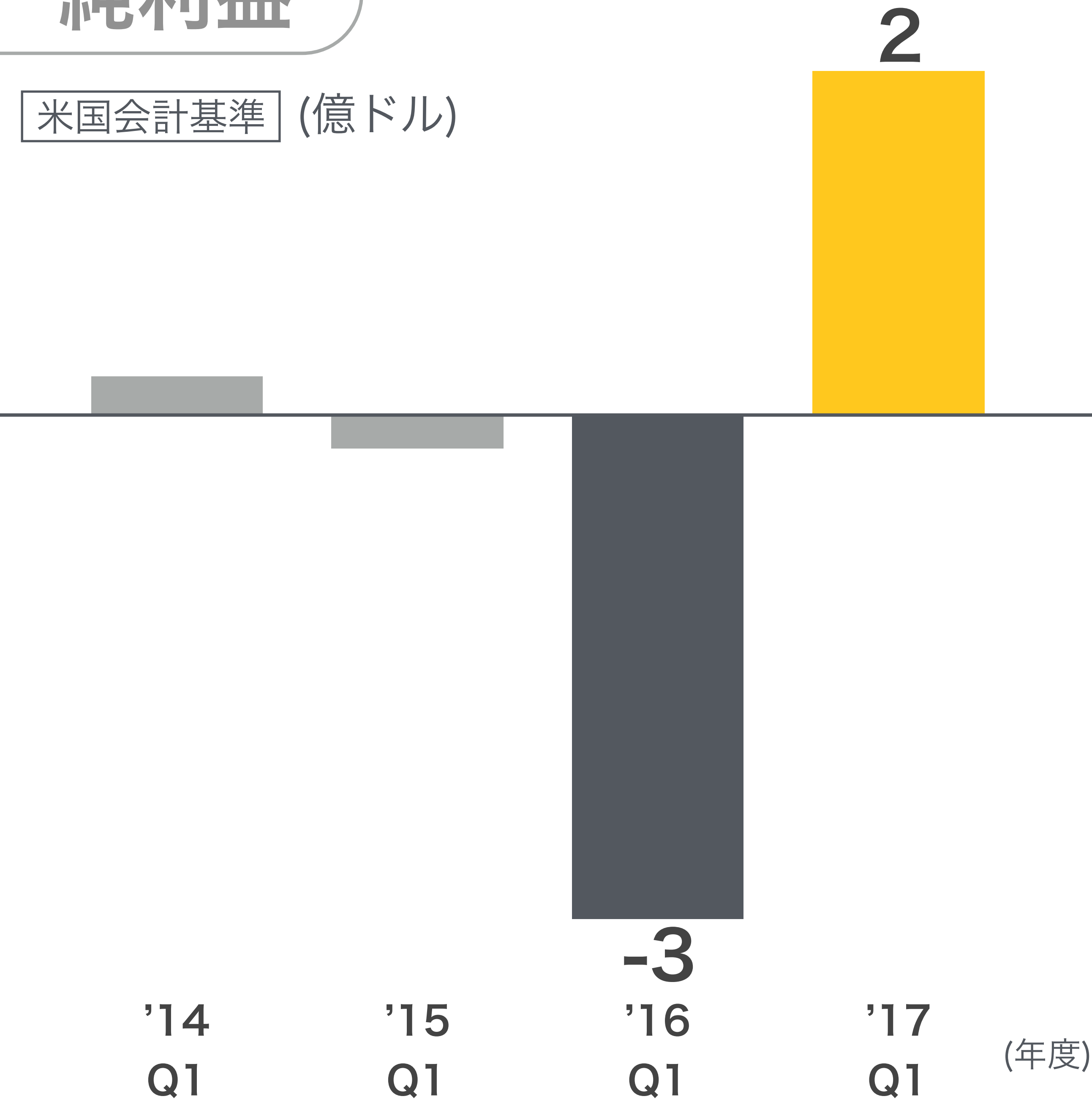
ソフトバンク
グループ入り



3倍

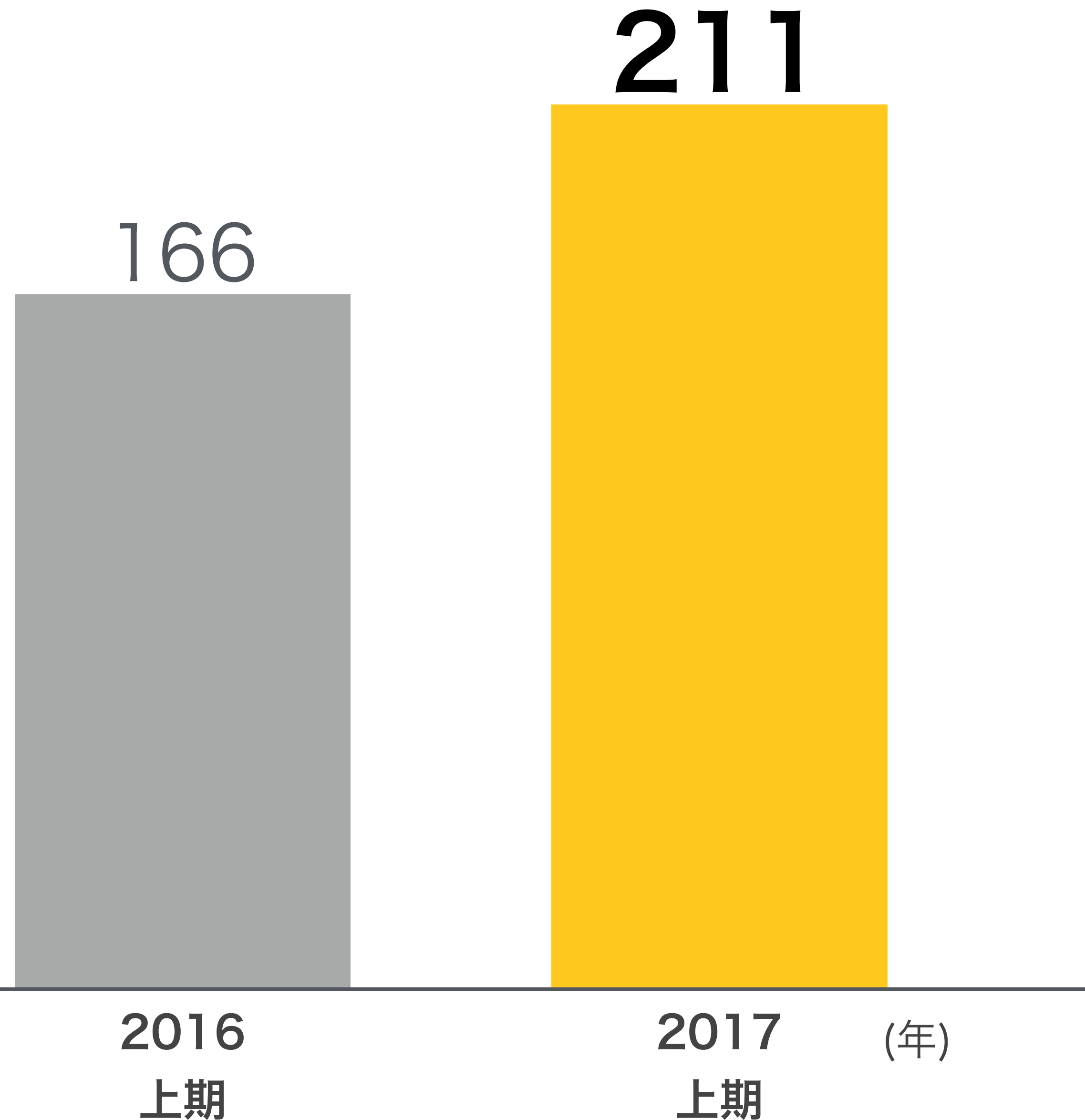
純利益

米国会計基準 (億ドル)



過去3年で初の
黒字

RootScoreアワード 受賞数 (大都市圏)



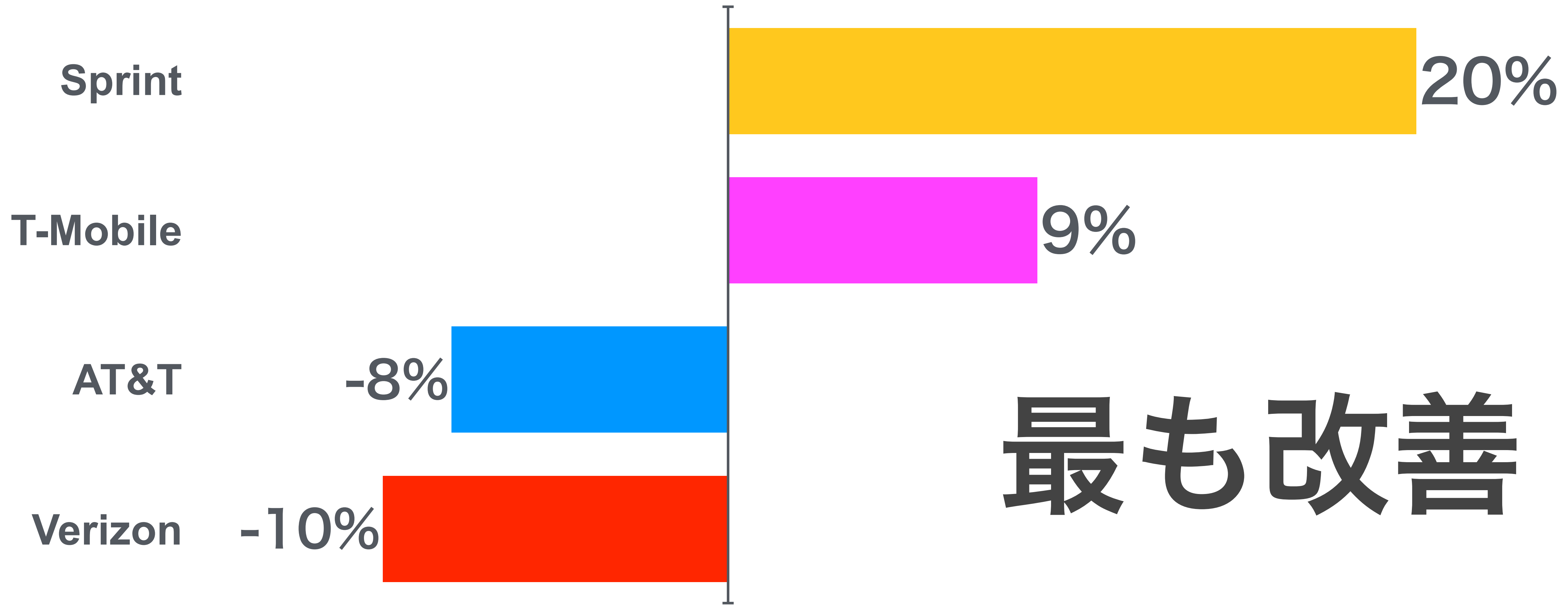
27%増

RootScore アワード
大都市圏 (125マーケット)における6つのネットワーク品質に係る指数のうち、1位または同率1位だった指数の数
(参考) 6つの指数：総合、信頼性、スピード、データ、通話、テキストメッセージ

平均ダウンロード速度 増減率



(2017年1月1日～2017年6月30日)



最も改善

*Sprint's analysis of Ookla's Speedtest Intelligence data from January 2017 to June 2017 for all mobile results

2017年度 見通し



1 調整後EBITDA 108～112億ドル

2 営業利益 21～25億ドル

3 キャッシュCAPEX 35～40億ドル

さらなる成長への兆し

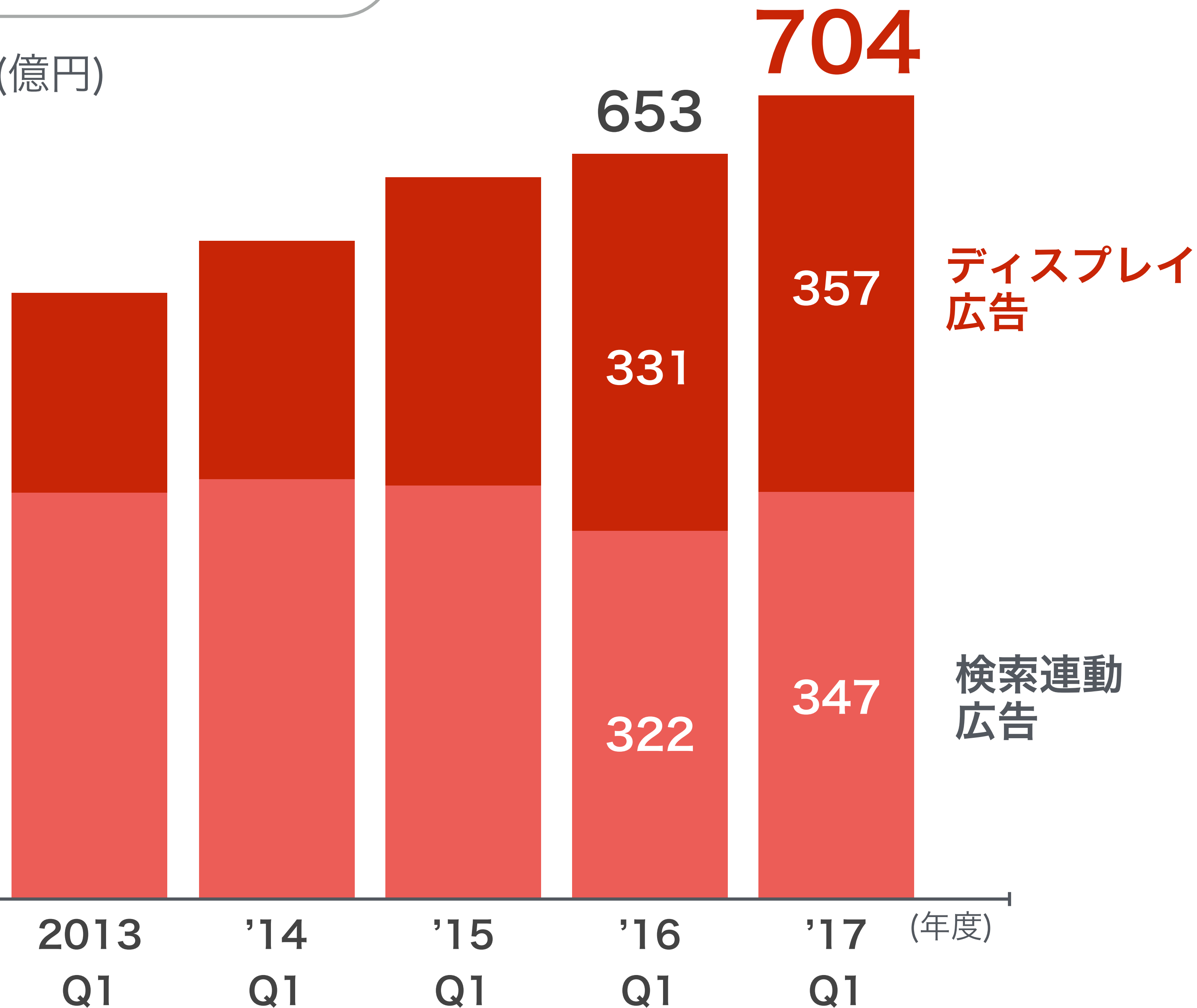
Sprint



YAHOO!
JAPAN

広告収入

(億円)



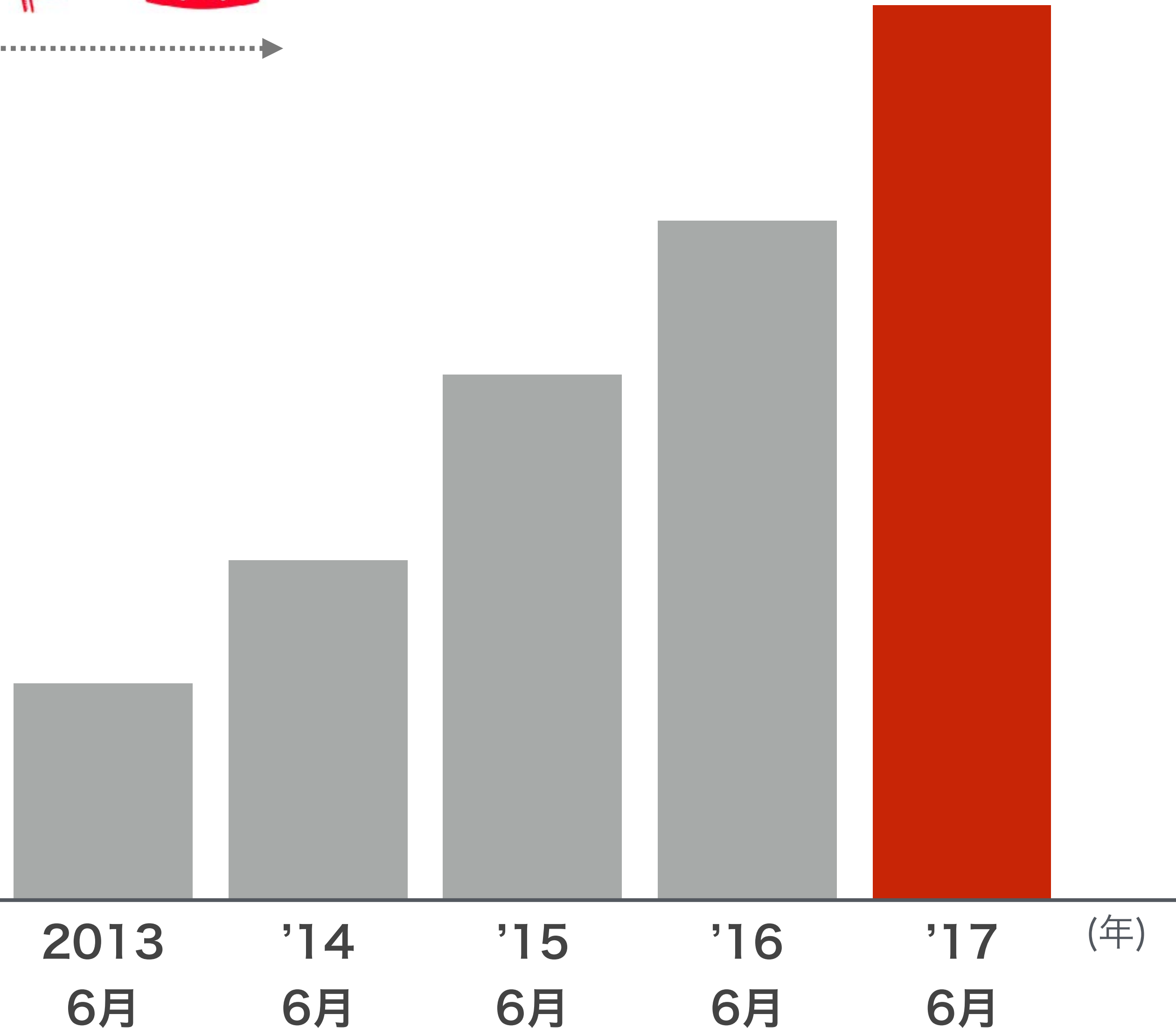
8%増

Yahoo!ショッピング 商品数



2.9億個

国内最多



注: 月末時点の実績。「Yahoo!ショッピング」の商品数。
* ヤフー(株)調べ

ショッピング事業 取扱高

(億円)



1,398

999

40%増

2013 Q1 '14 Q1 '15 Q1 '16 Q1 '17 Q1 (年度)

* 「Yahoo!ショッピング」、「LOHACO」の取扱高
「LOHACO」は、アスクル(株)におけるLOHACO事業の売上高
(取扱高、20日締め)

arm

売上高

467億円
(4.2億ドル)

478億円
(4.3億ドル)

2%増

2016年
4月～6月

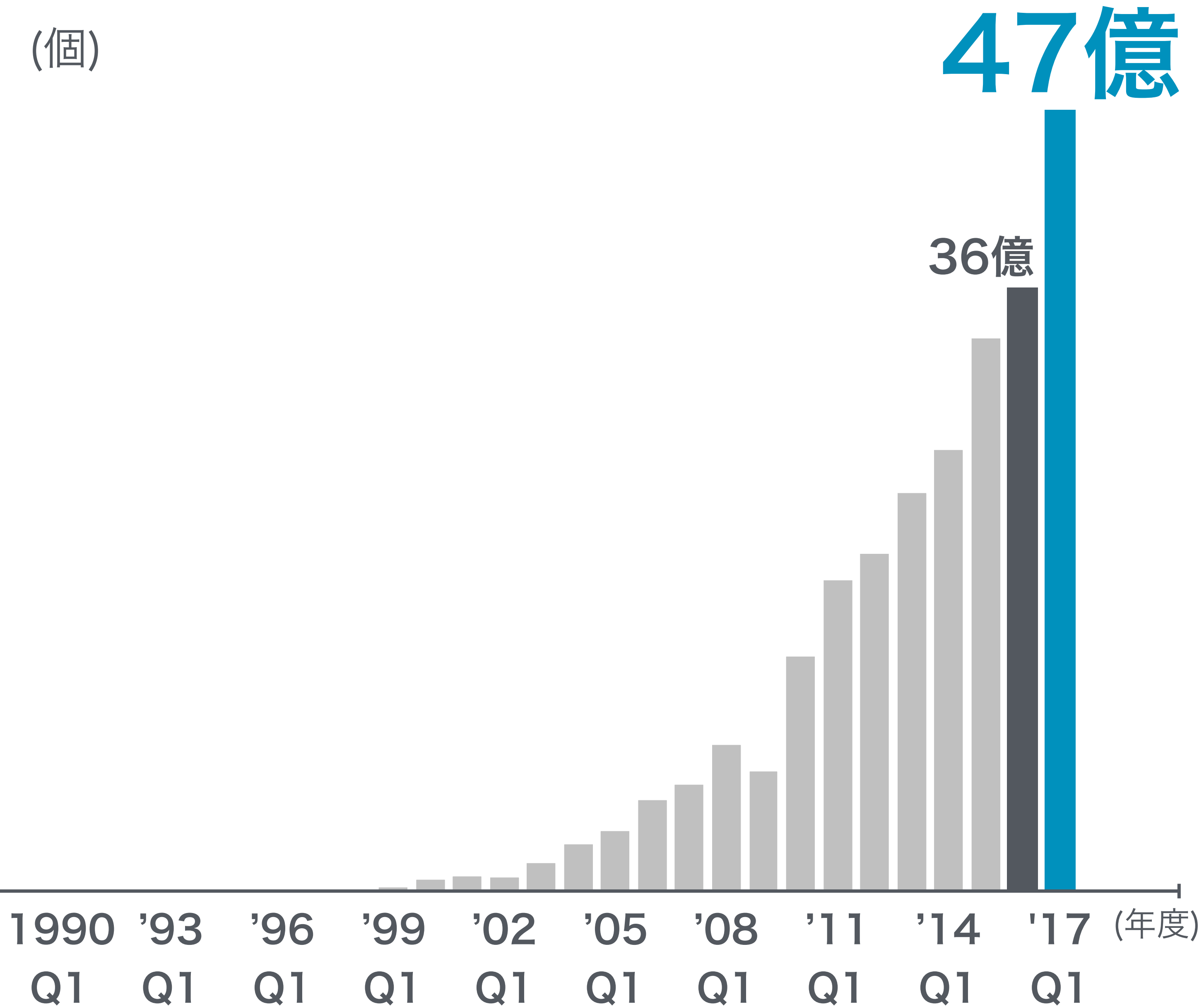
2017年
4月～6月



* 1ドル = 111.61円 (2017年4月～2017年6月平均レート)で換算 42

Armベース チップ出荷数

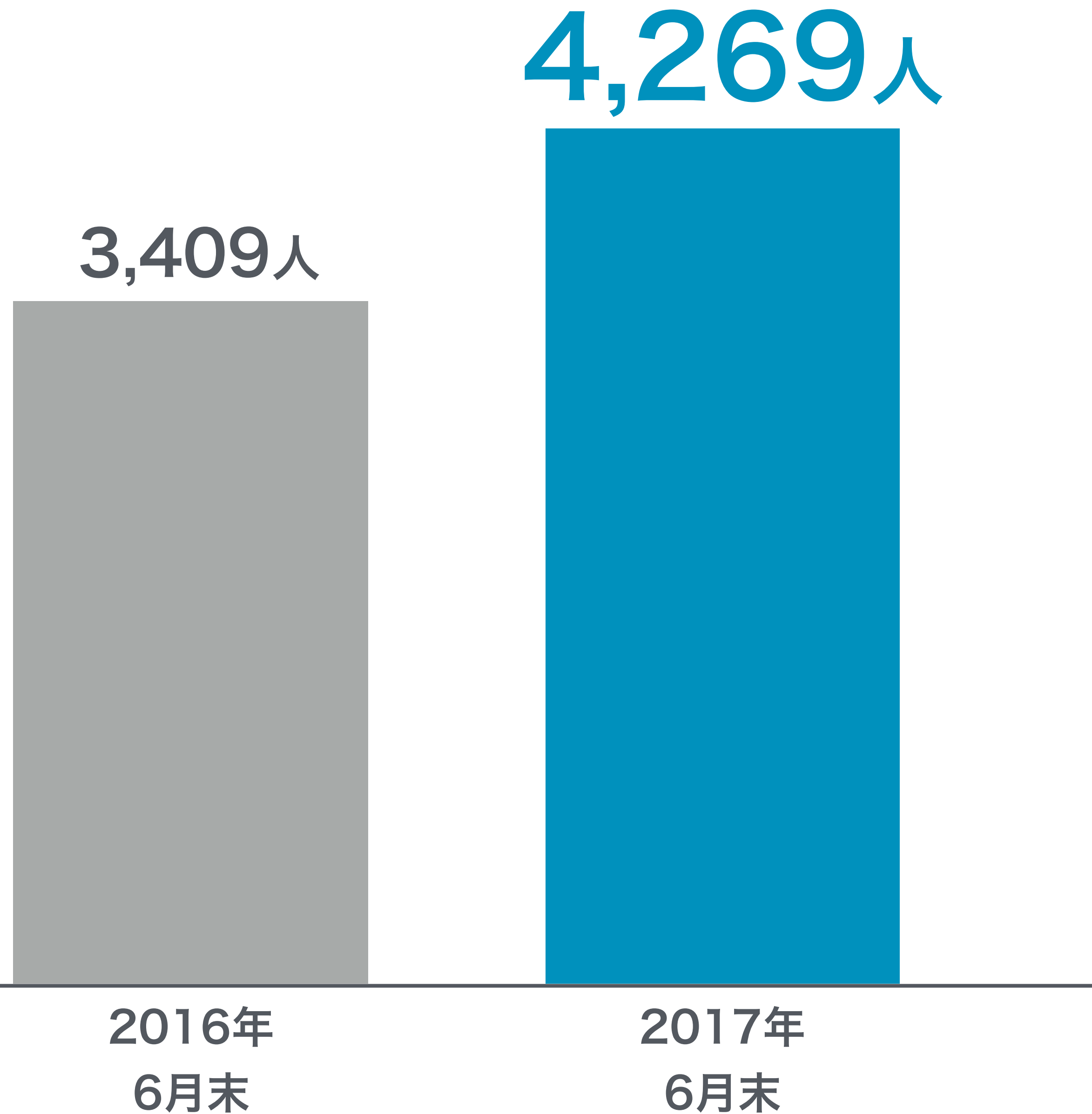
(個)



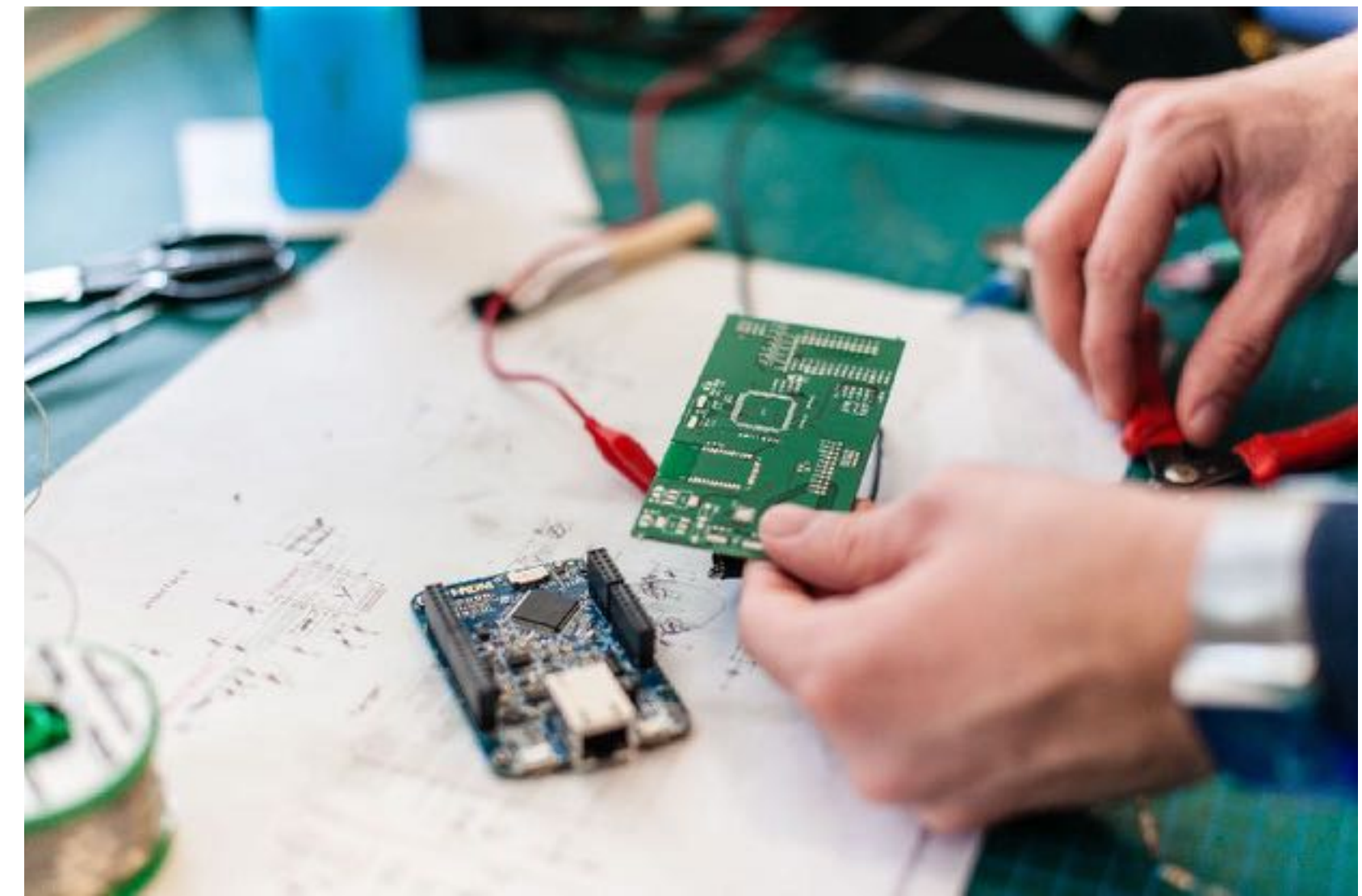
28%増



従業員数 (技術関連)

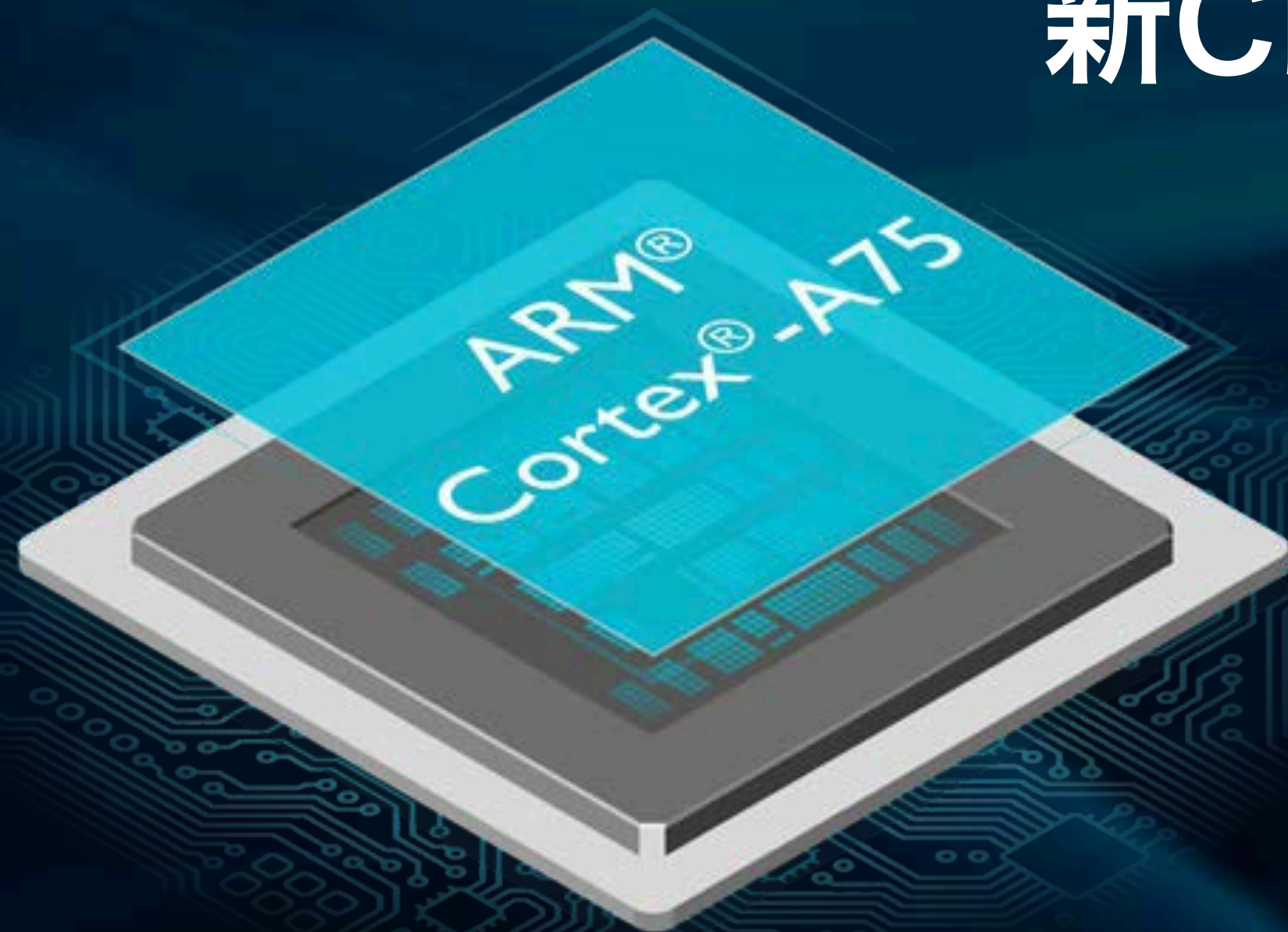


先行投資を加速
25%増

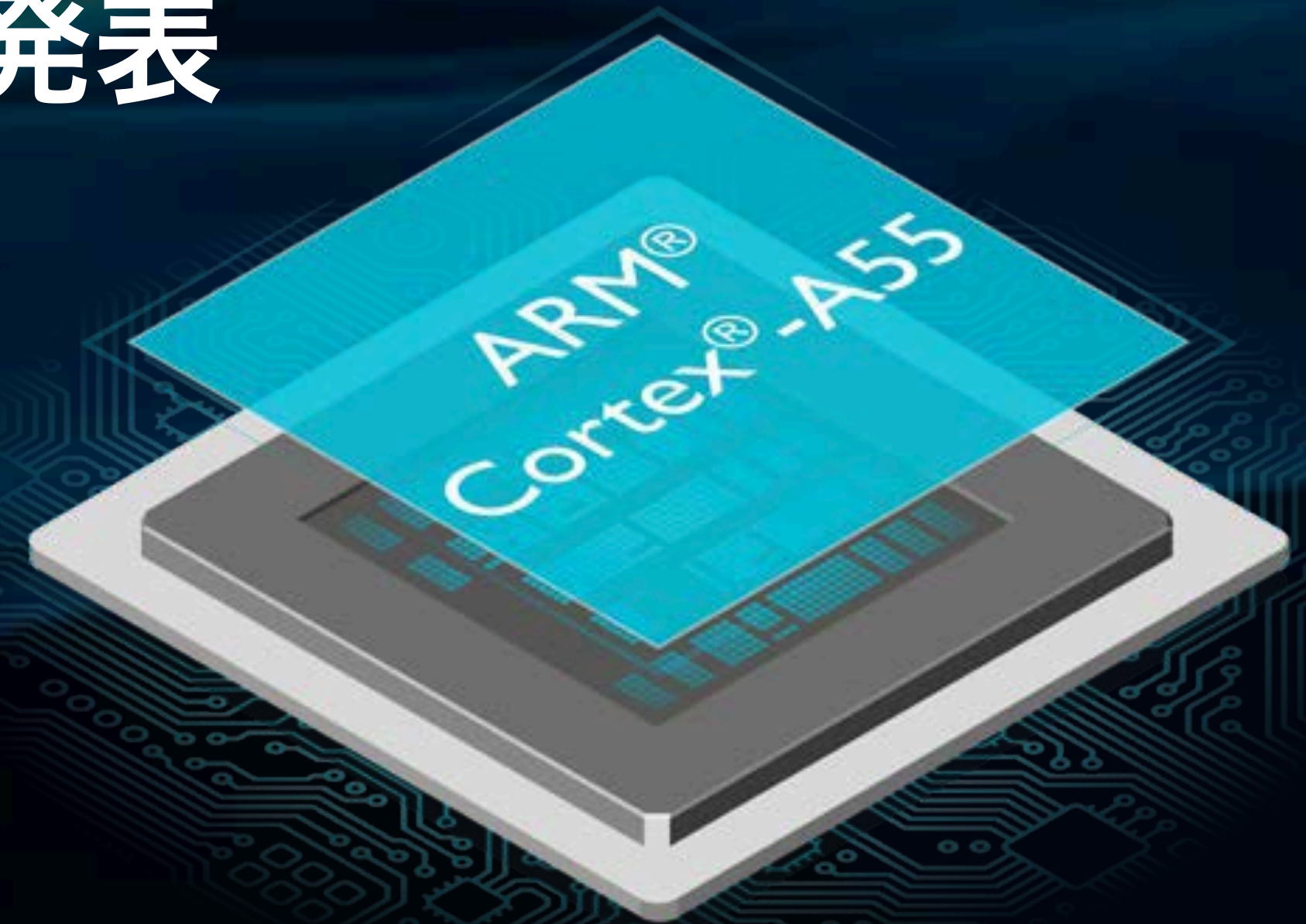


arm DynamIQ

新CPUコアを発表



パフォーマンス
50%超 向上

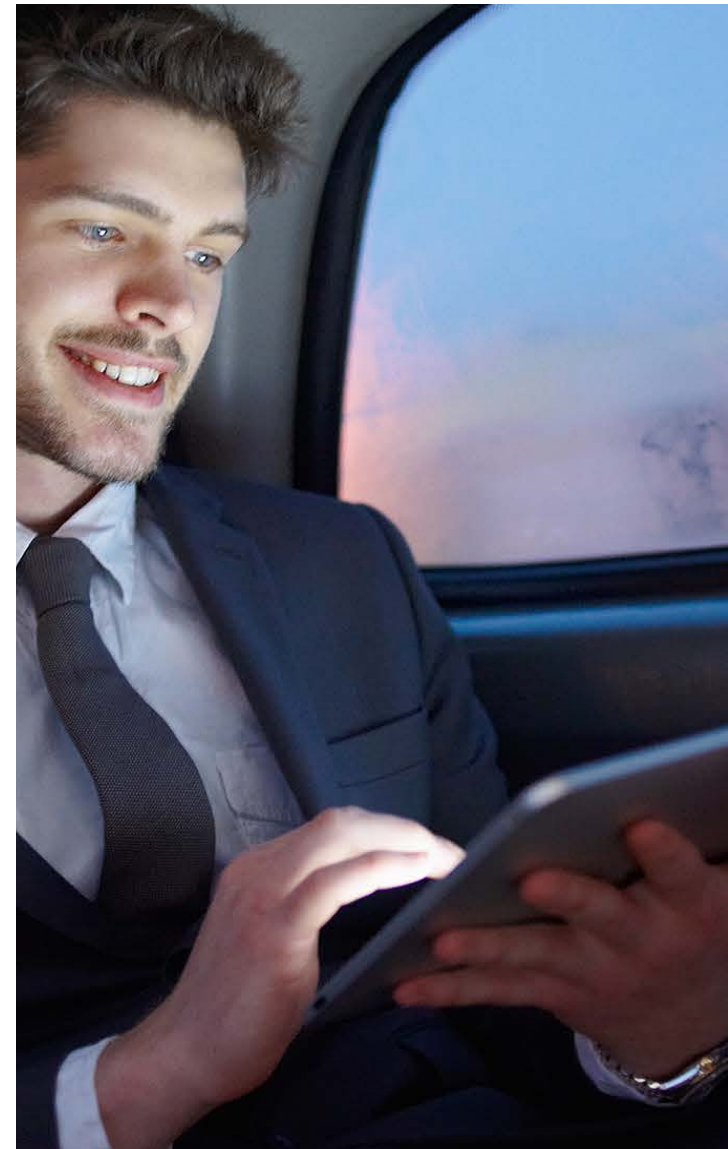


電力効率
2.5倍 改善

2018年のハイエンドスマホに搭載へ

Cortex-A75

大画面
携帯端末



インフラ



安全な自動運転



IoTエッジ
ゲートウェイ



Cortex-A55

日常的に
使用する端末

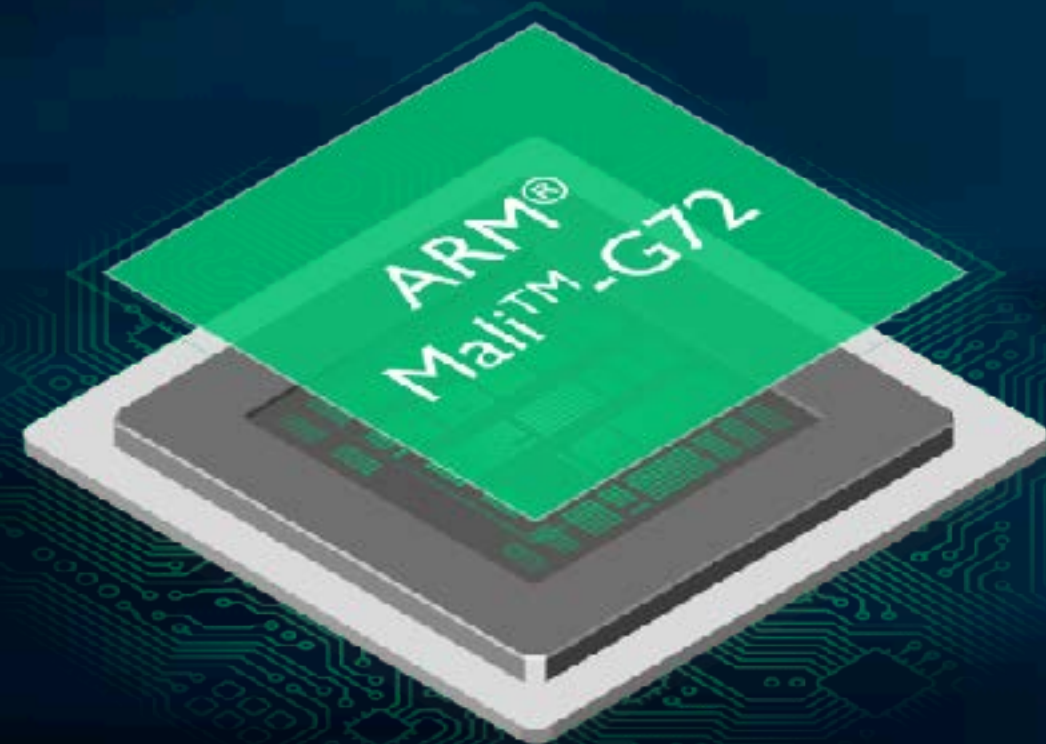


自動システム



AI機能を実現へ

新GPU “Mali-G72”



エネルギー効率

25%増

AIパフォーマンス

17%増

面積効率

20%増

AIとVRを加速

新画像処理プロセッサ”Mali-C71”

(自動車市場向け)

従来

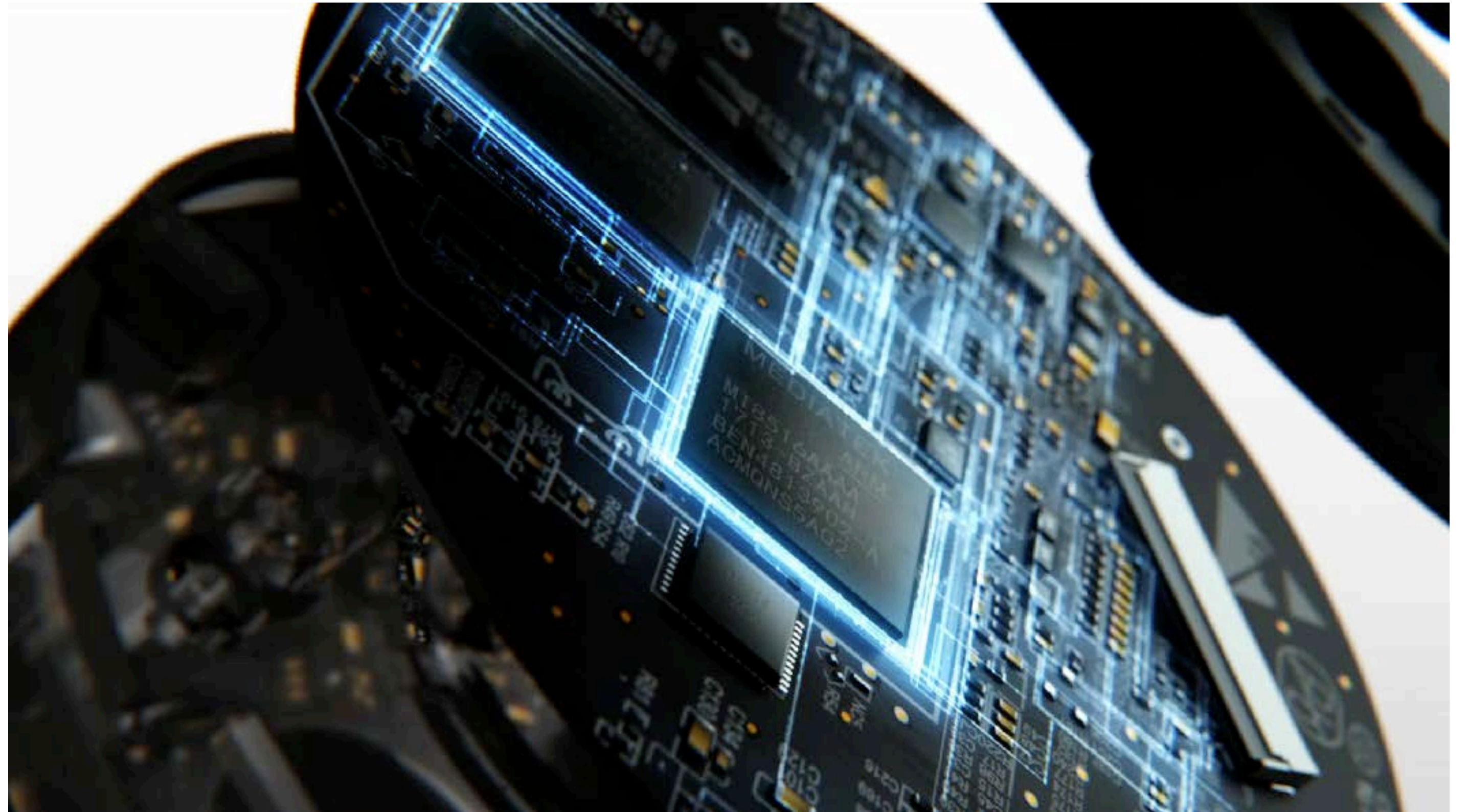


Mali
C71



安全で快適な
運転を支援

Cortex-A35を搭載





スマートウォッチ

SAMSUNG
Gear S3



TUMI

荷物追跡デバイス



dji

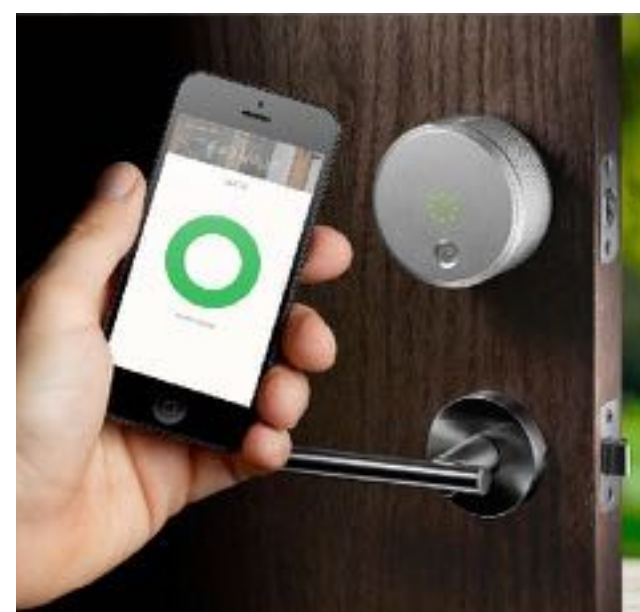
Mavic Pro
(ドローン)

arm 様々なIoT製品で採用



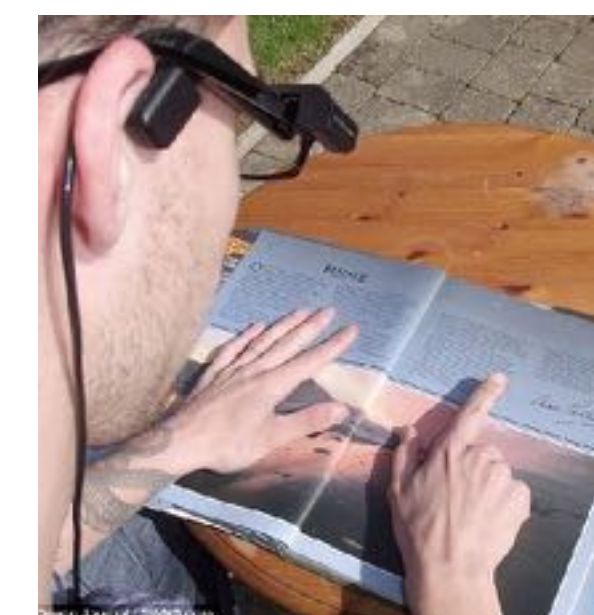
IKEA

スマートライト



eugust

スマートロック



ORCAM

視覚障害者向け
眼鏡型デバイス



ライセンス無償化 IoT開発が容易に (Cortex-M0 & Cortex-M3)



IoT 1兆個へ

(注) Arm DesignStart プログラム: Arm IPへのアクセスを容易にするプログラム。
ライセンス前払費用を無償化し、ロイヤリティモデルを適用。

2017年度 見通し

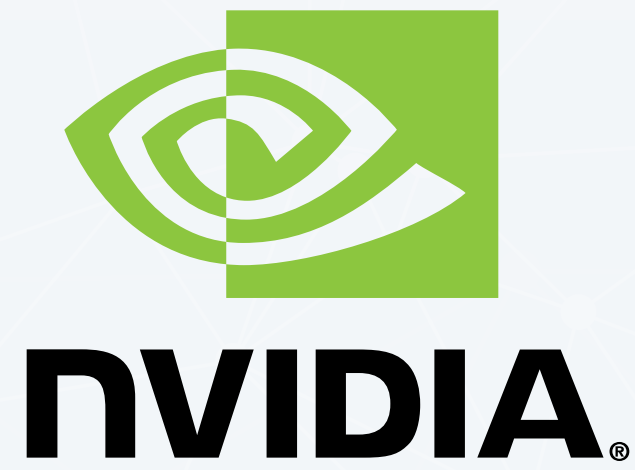
1 IoTの成長機会を追求

2 成長市場でシェアを拡大

3 研究投資を強化

情報革命の同志的結合グループへ

SoftBank Vision Fund

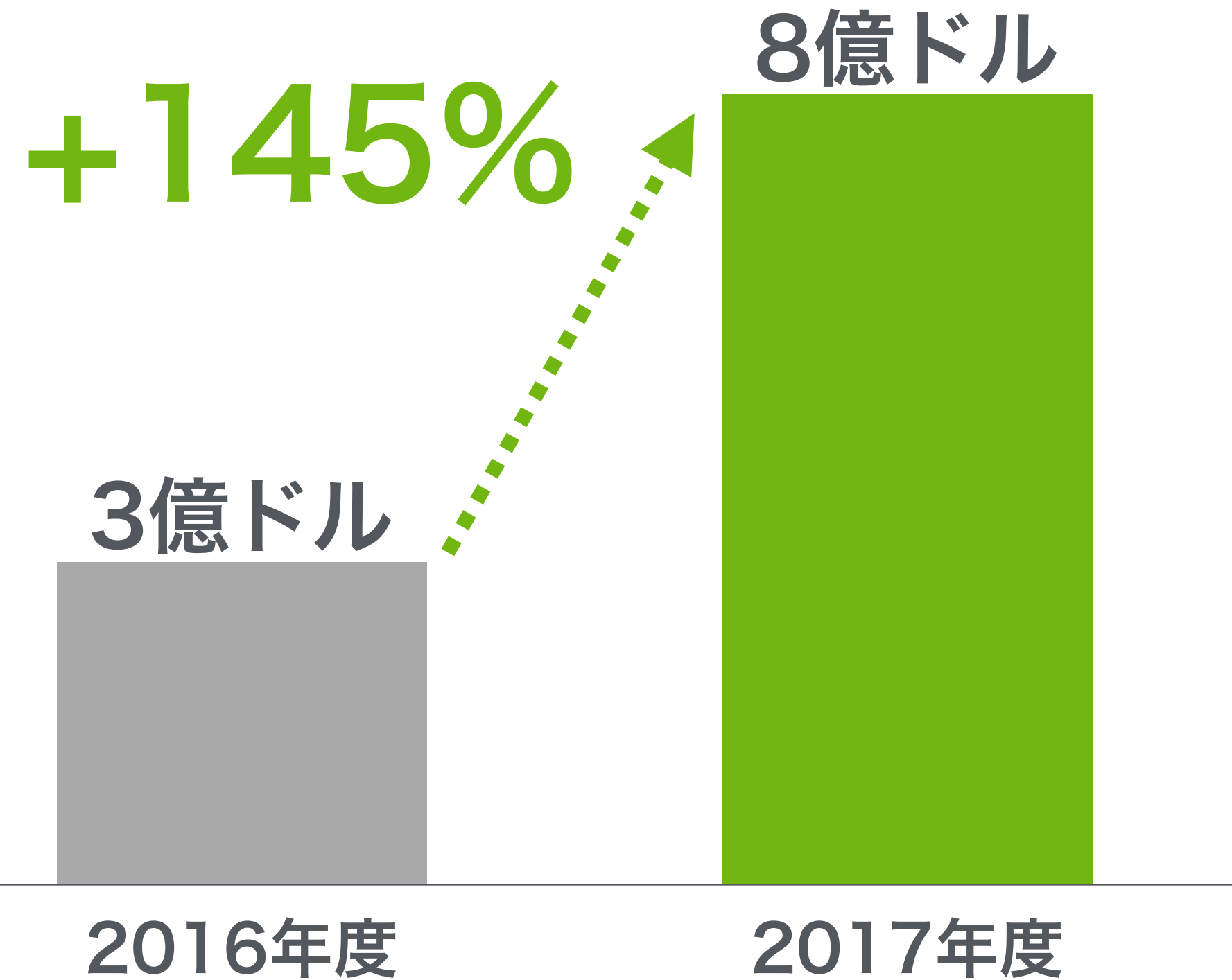


革新的起業家集団が拡大

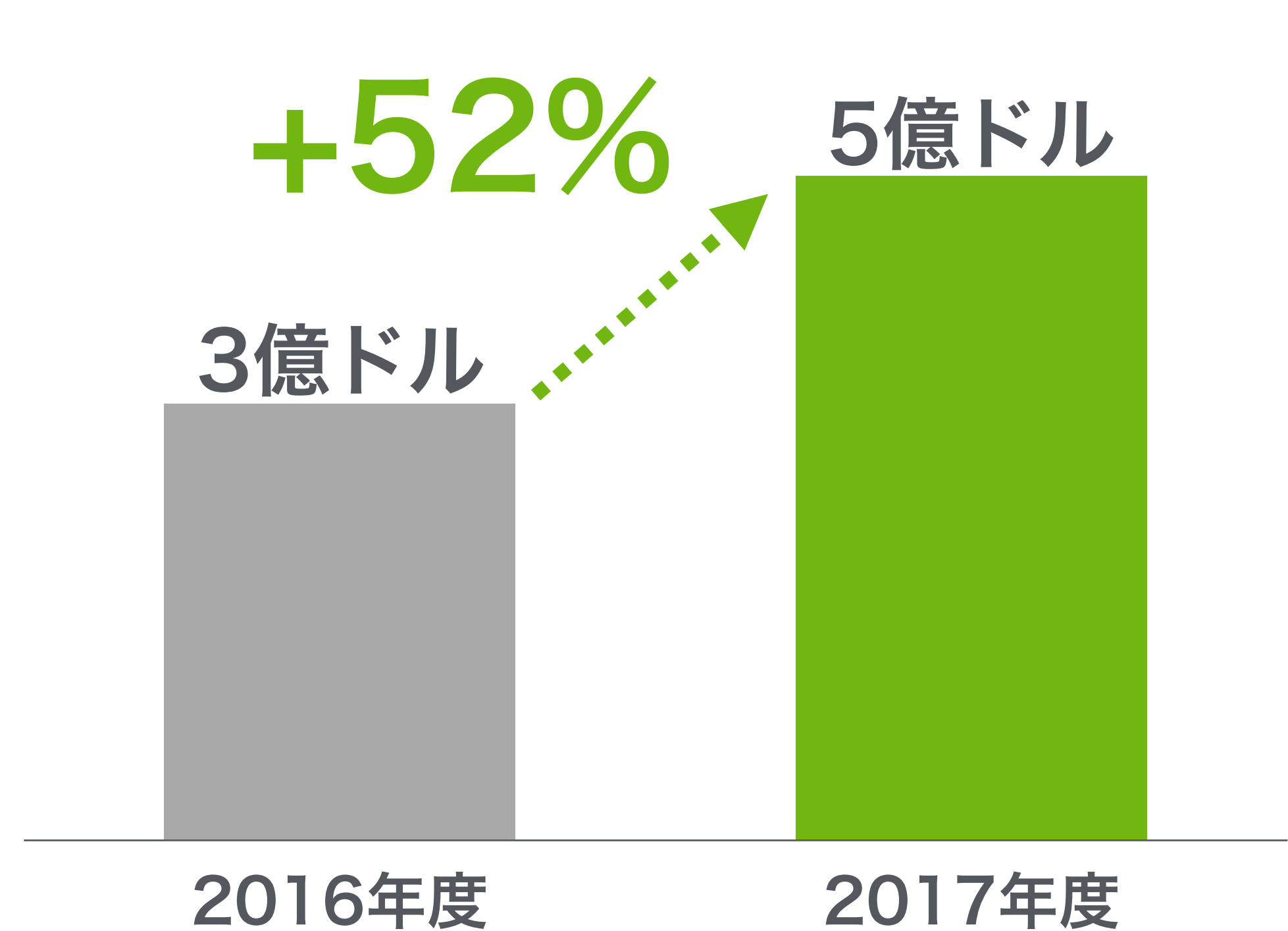




売上 (データセンター)



売上 (自動車)



AI向けGPUで圧倒的な地位を確立



登録者数

3.3億人

ドライバー数

2,600万人

サービス利用
可能都市数

400都市
以上

1日当たり
乗車数

2,100万
以上

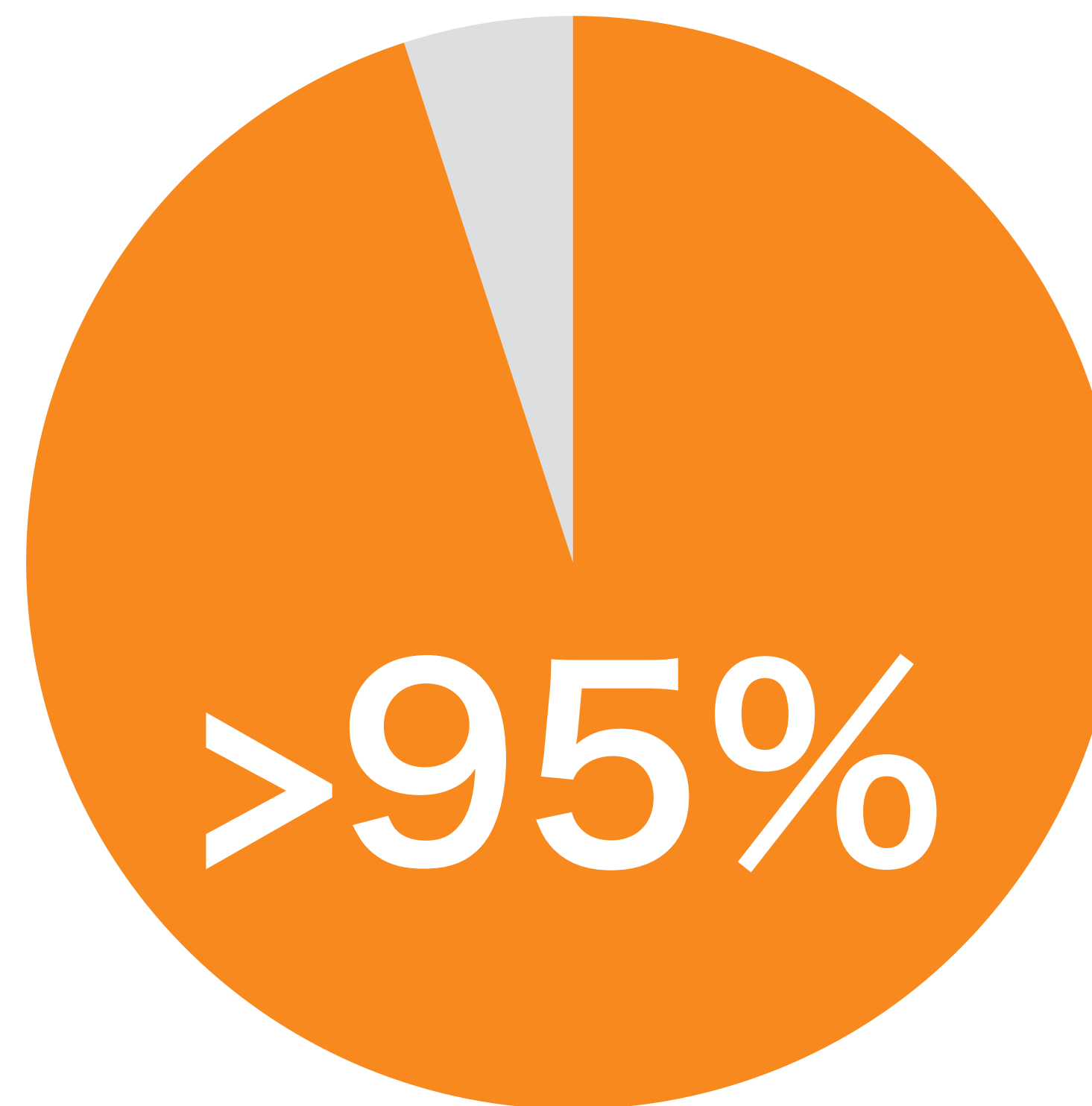
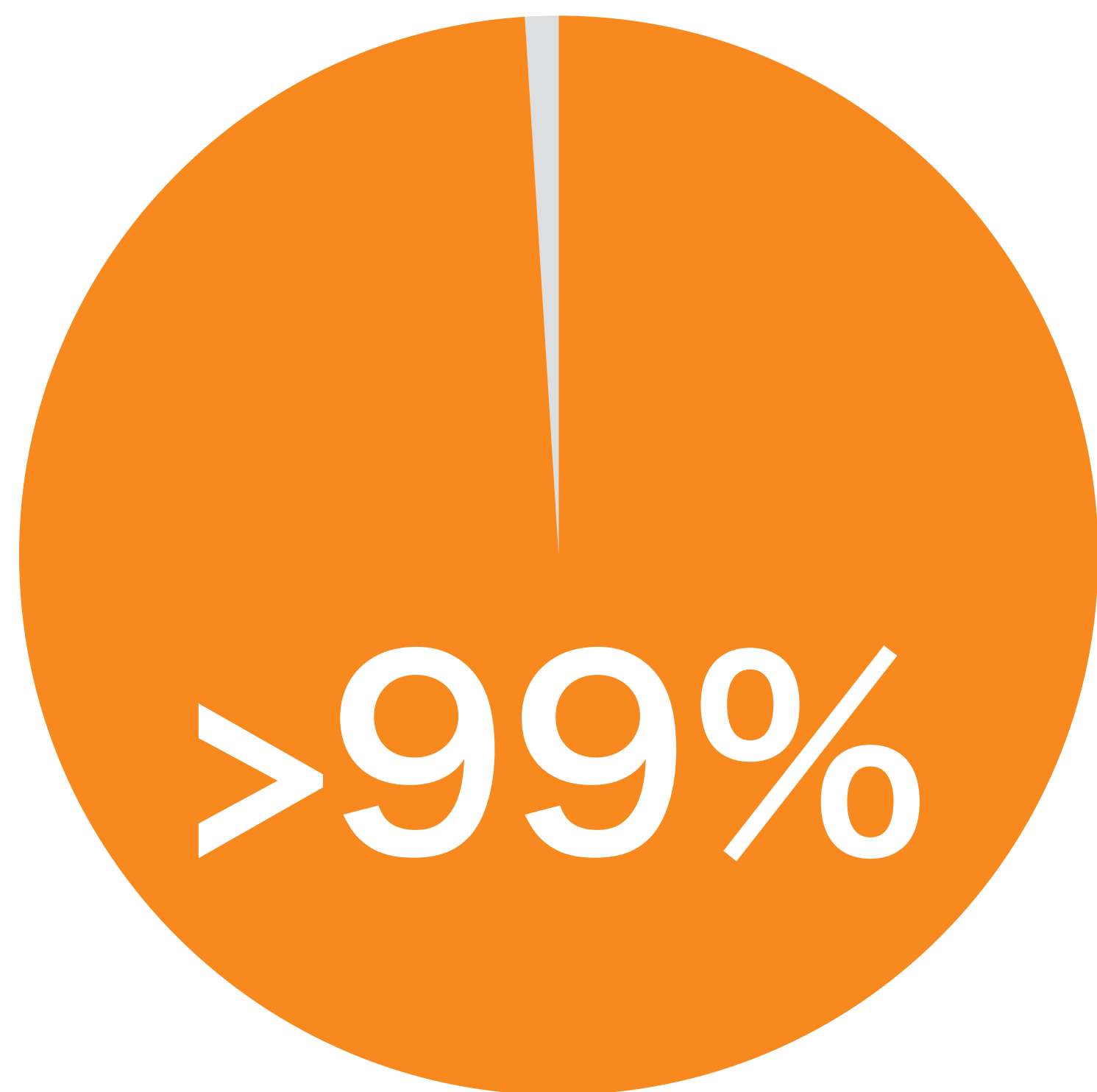
世界最大級

トランスポートেশョンプラットフォーム



タクシー(中国)

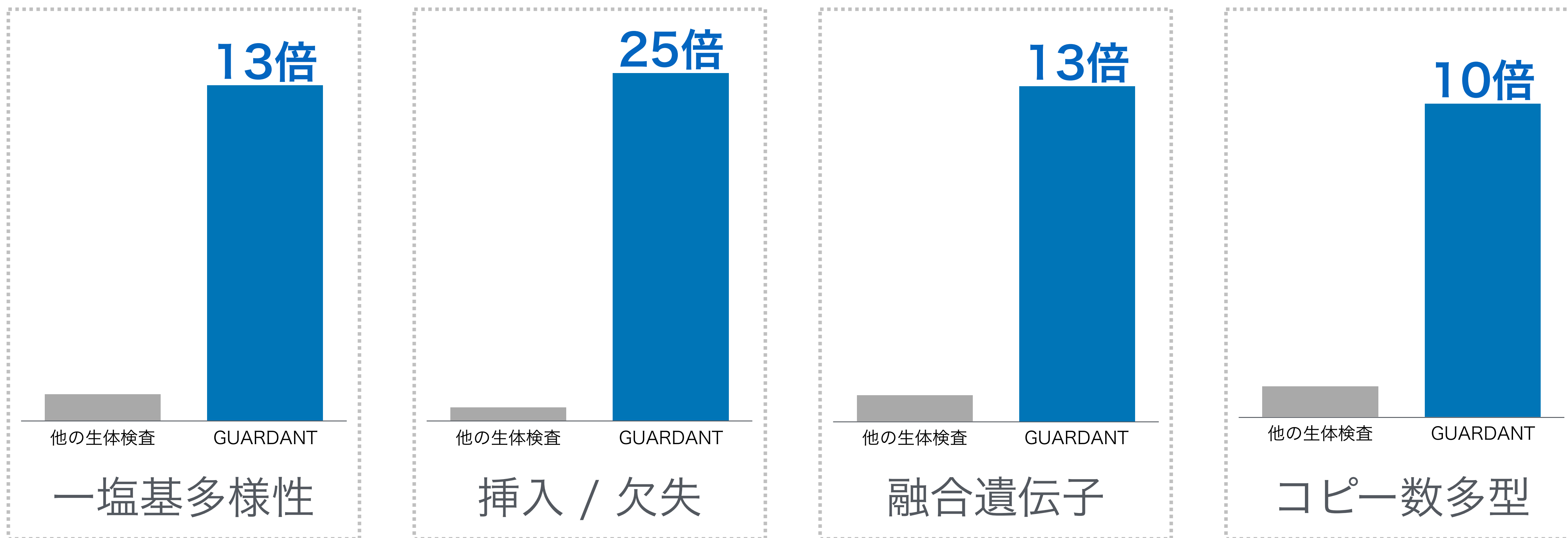
自家用車 (中国)



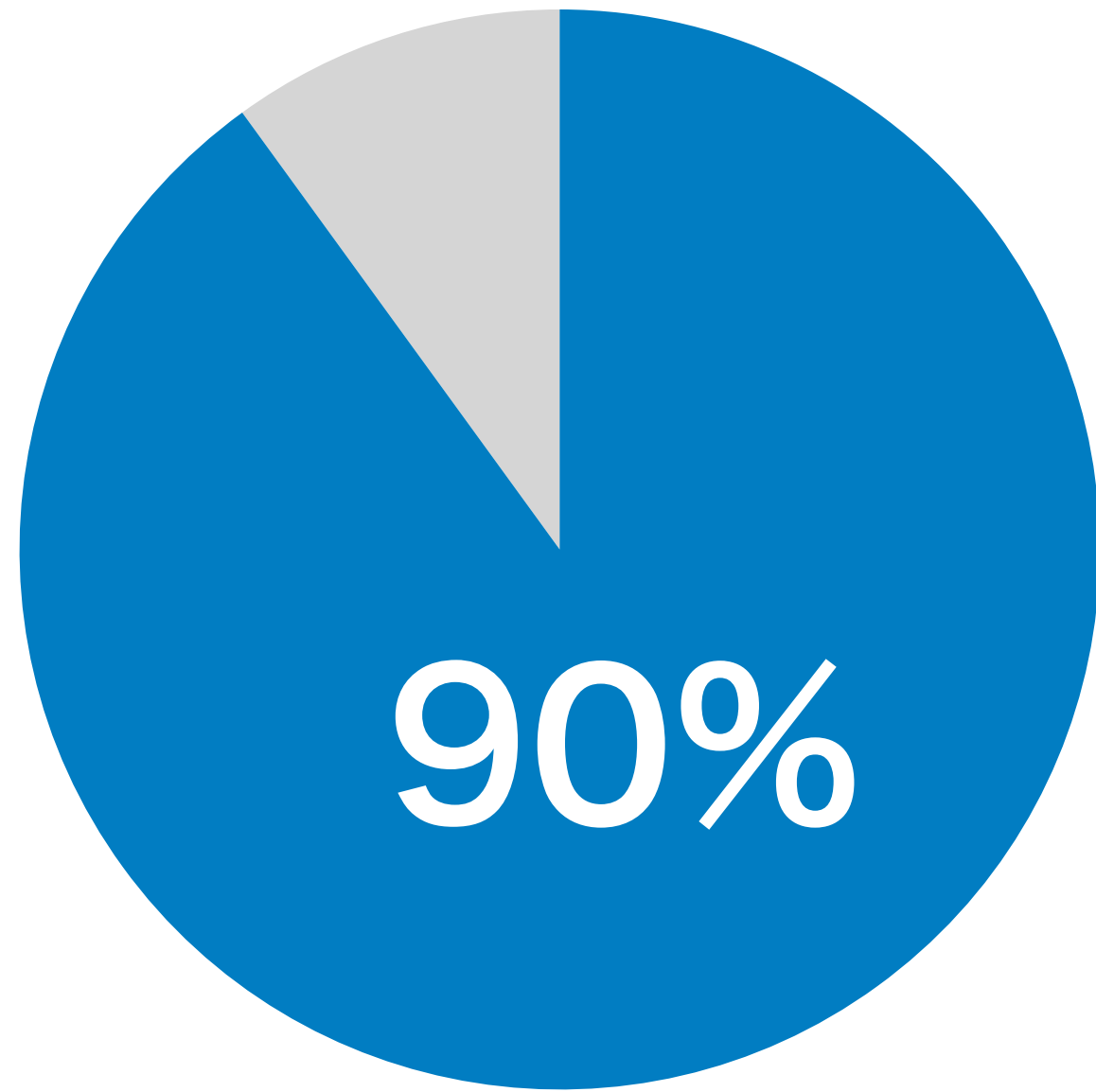
圧倒的No.1

GUARDANT HEALTH

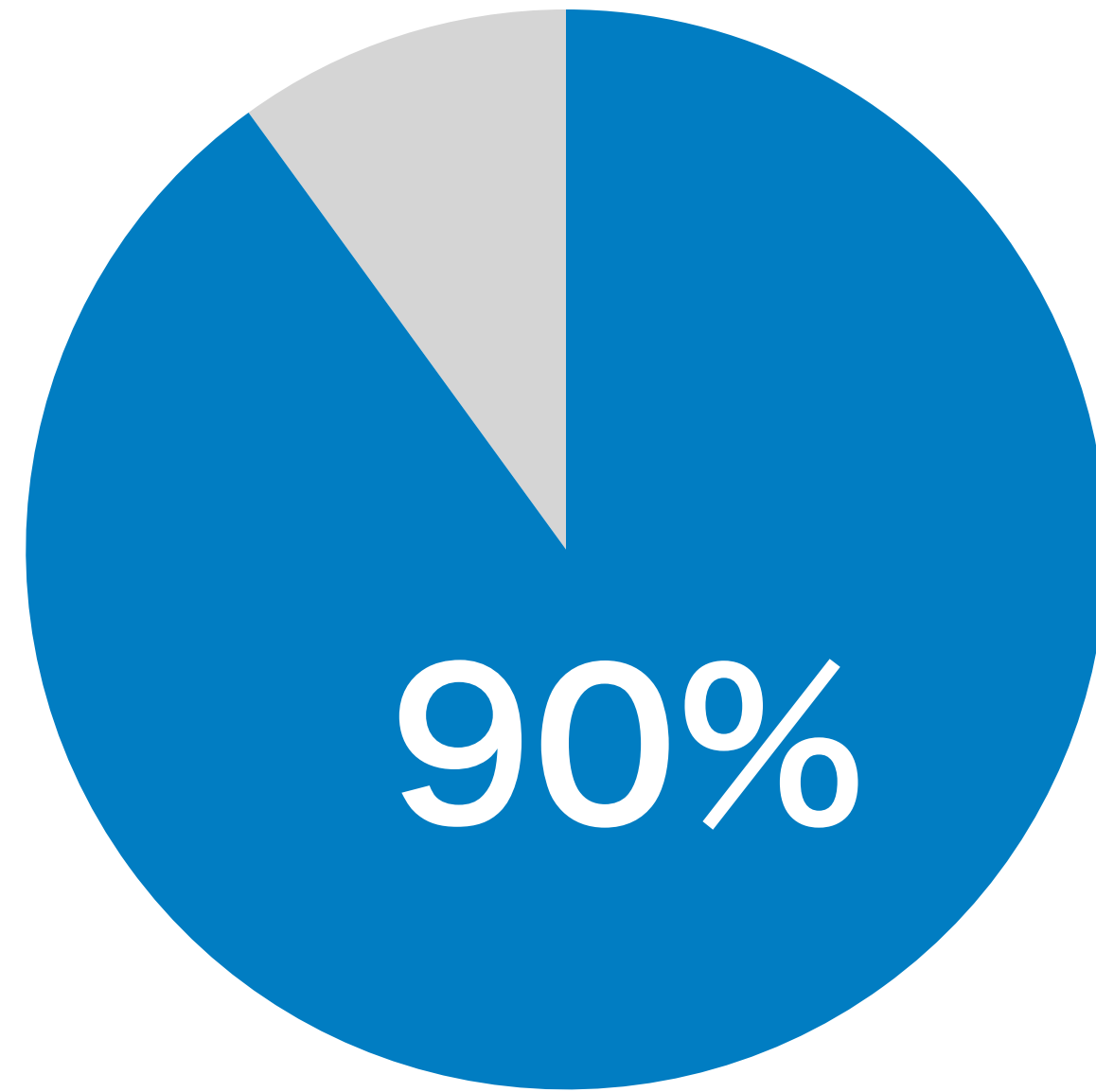
人工知能による総合血液生体検査



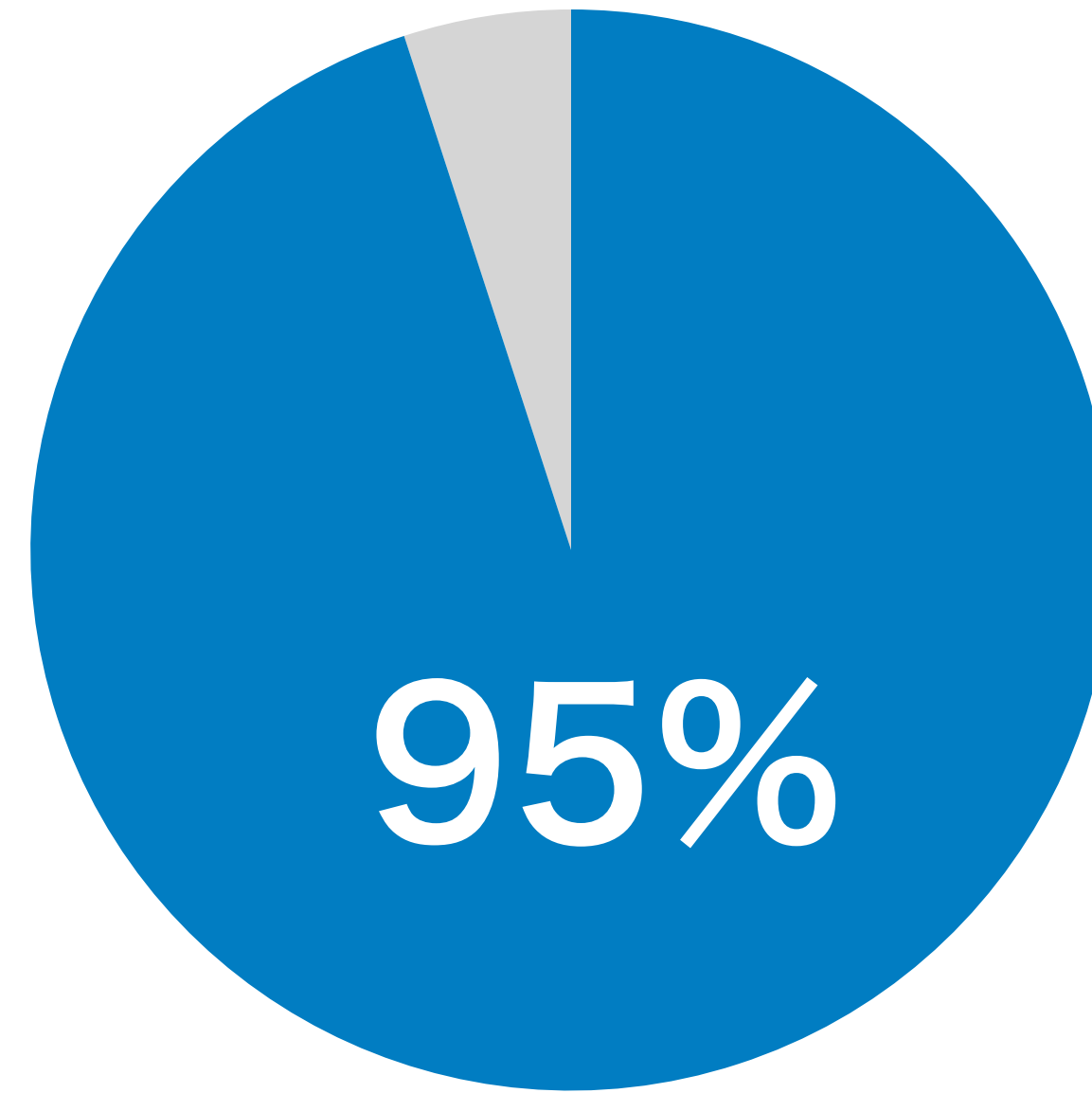
10倍以上の検査精度を実現



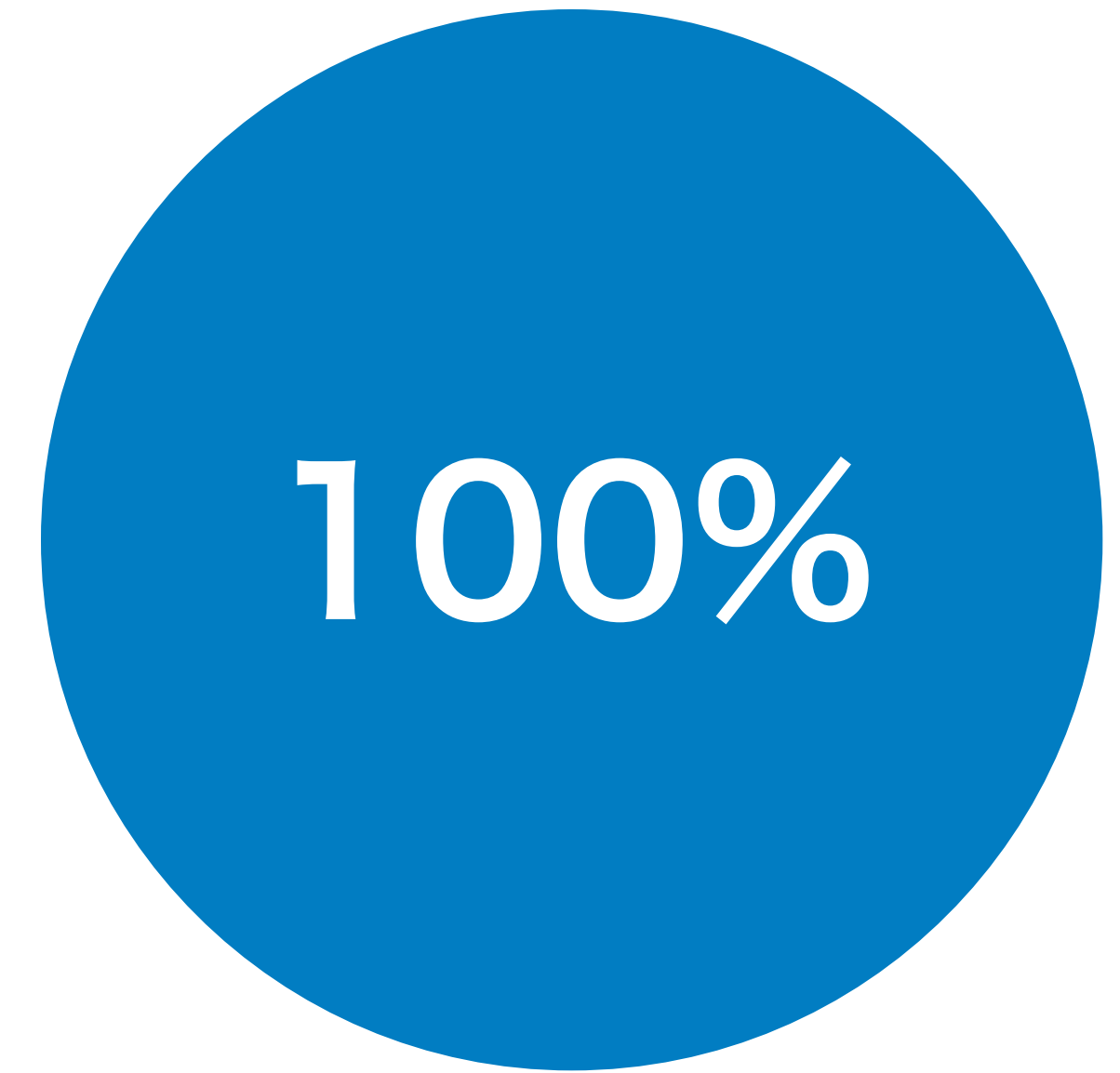
電力
(米国)



医薬品
(Fortune Top 10)



石油・ガス
(Fortune Top 40)



金属・採掘鉱業
(Fortune Top 10)

産業用IoTで圧倒的シェア

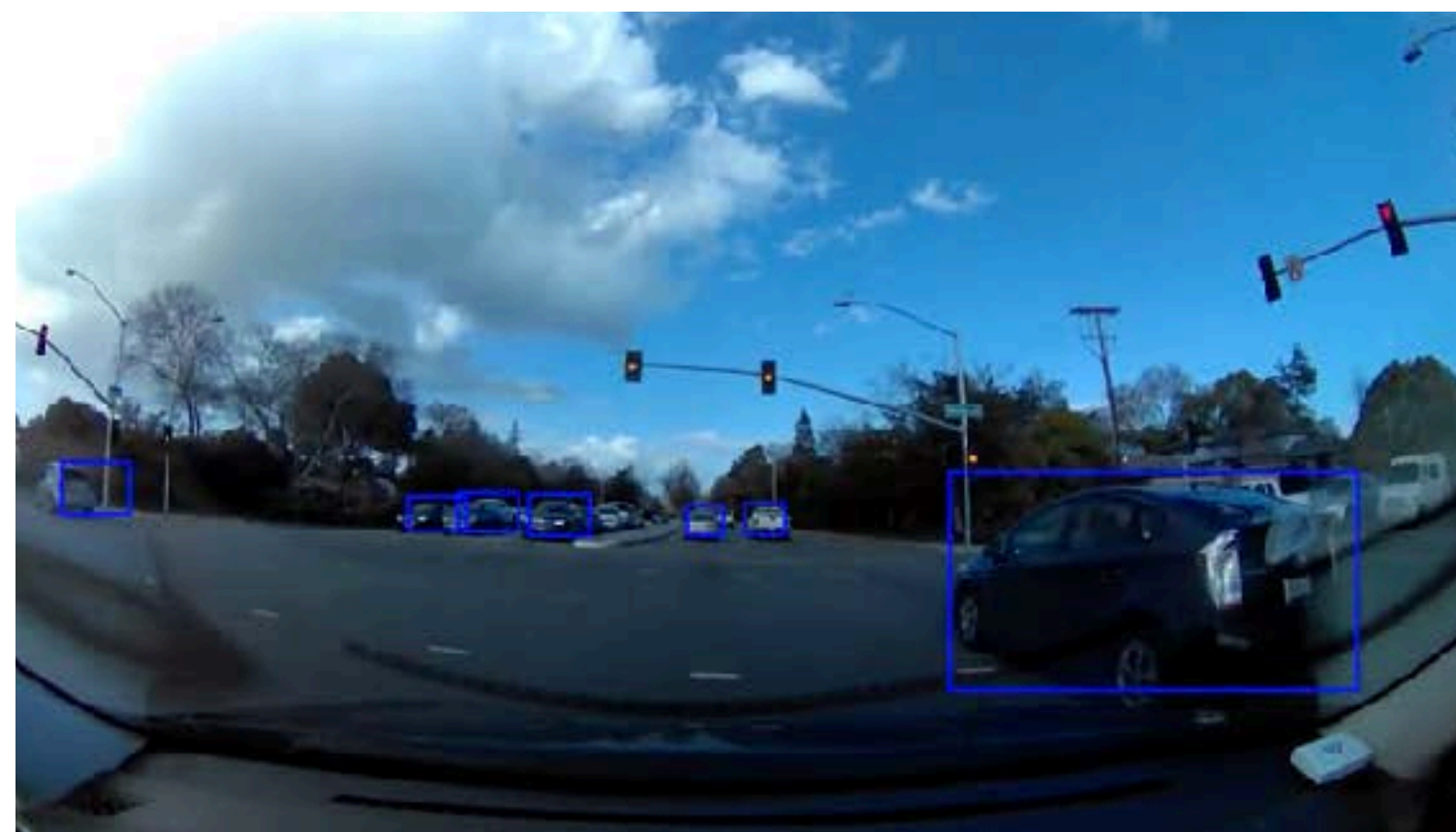


人工知能による運行管理サービス

小型カメラ



車外モニター



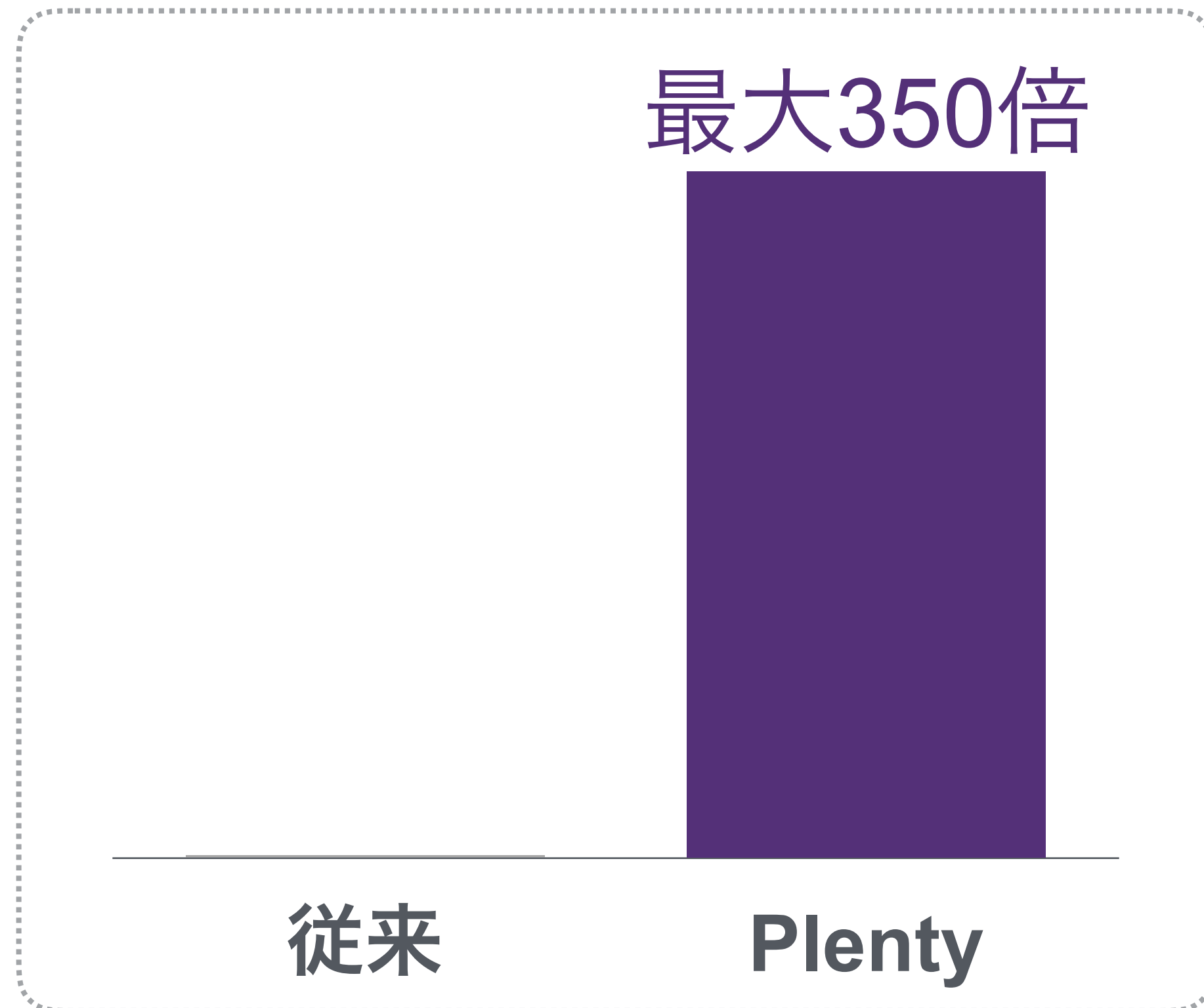
車内モニター



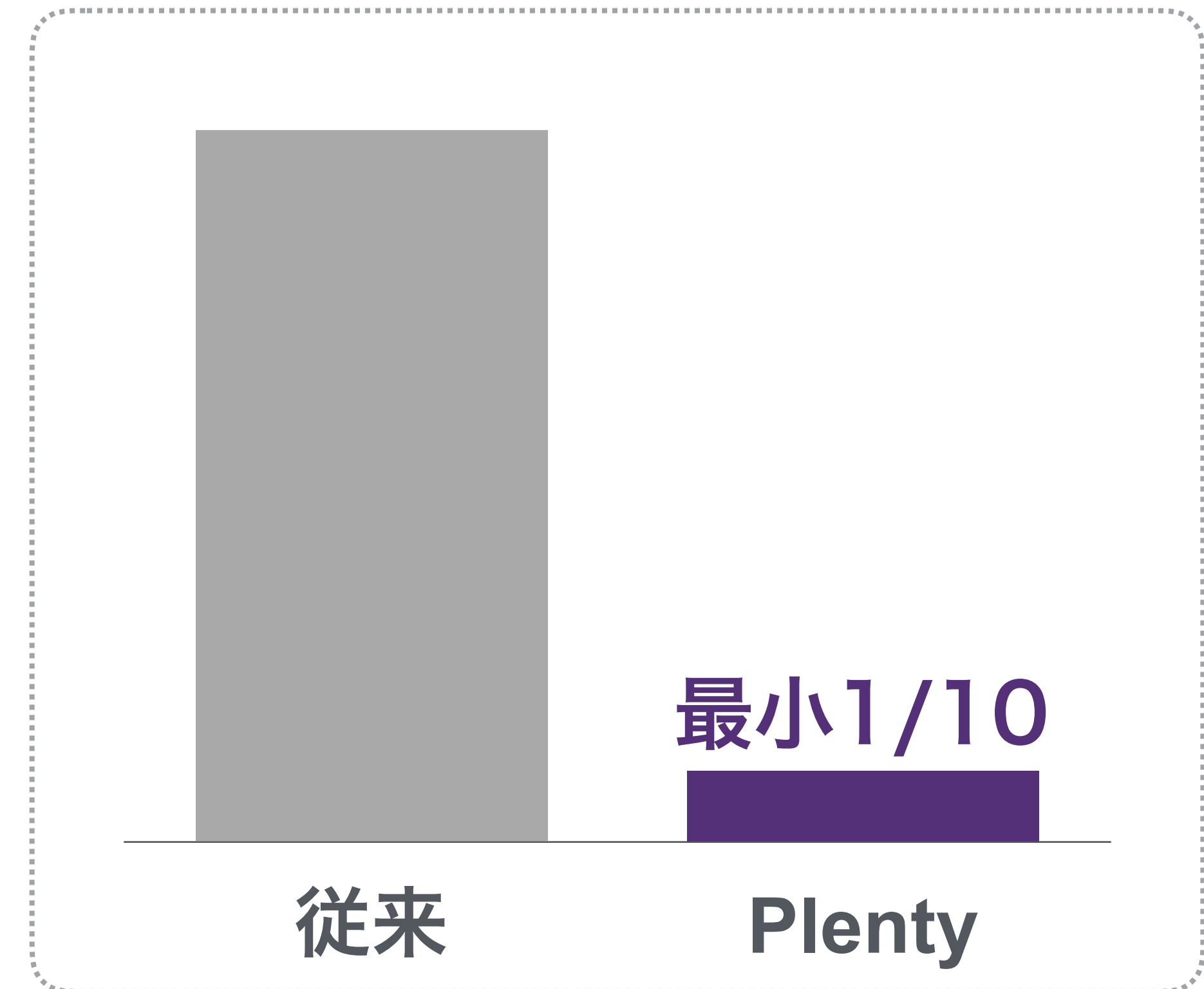
衝突事故件数 37%減



生産量 (同面積あたり)



輸送コスト



IoT・人工知能を活用した革新的屋内農場



IMPROBABLE

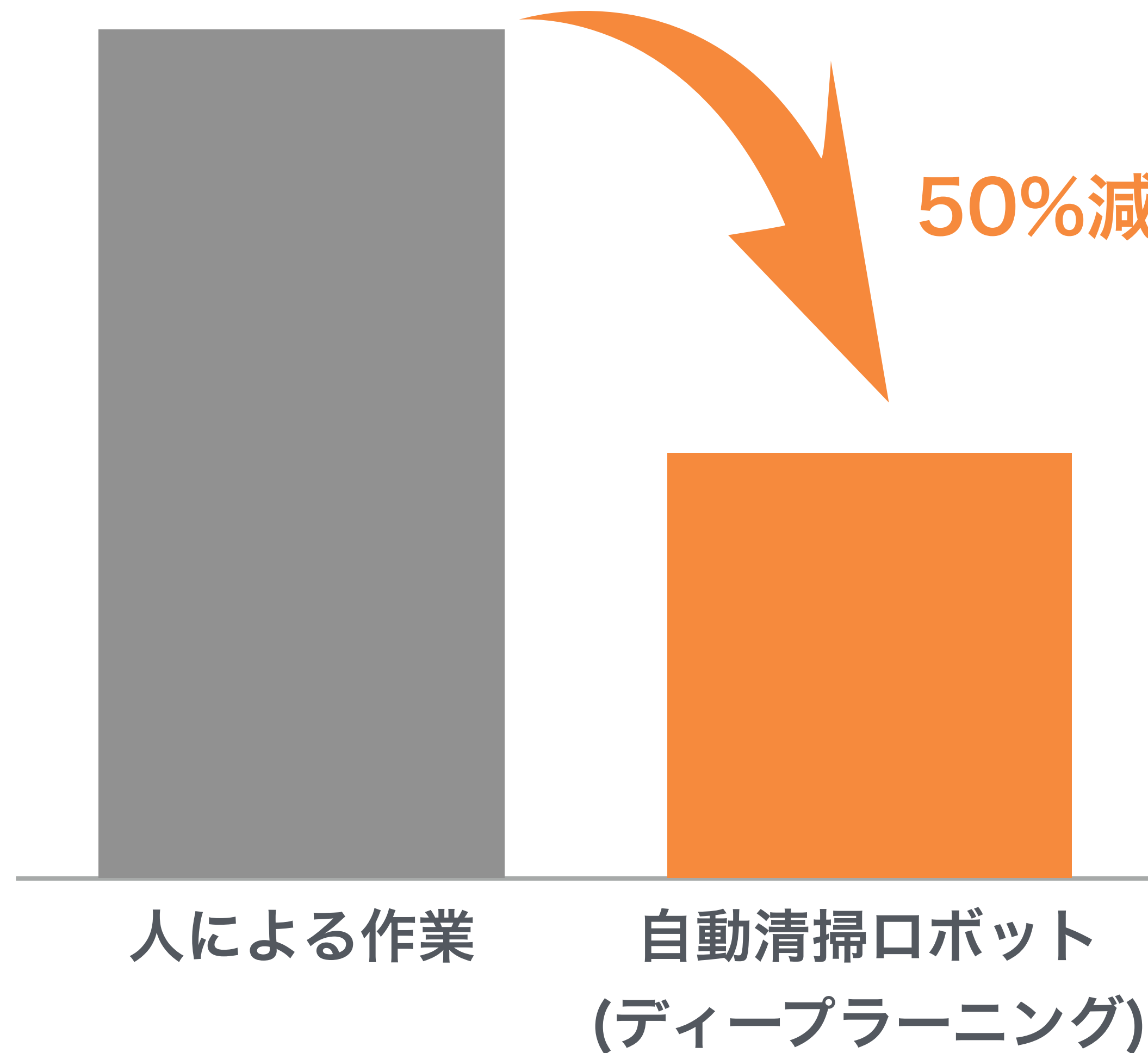
IMPROBABLE

一般的なゲーム*

ゲーム内登場 オブジェクト数 1万倍以上

* 従来のクライアント・サーバーモデルのゲーム 62

清掃コスト



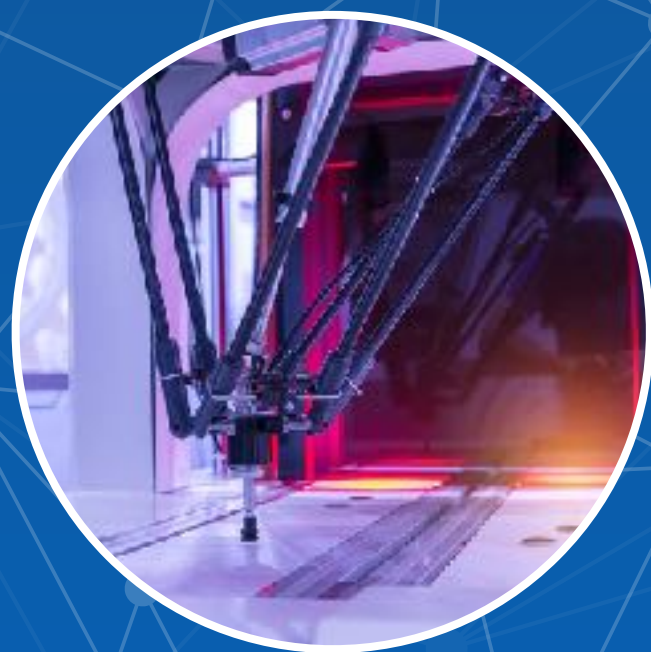
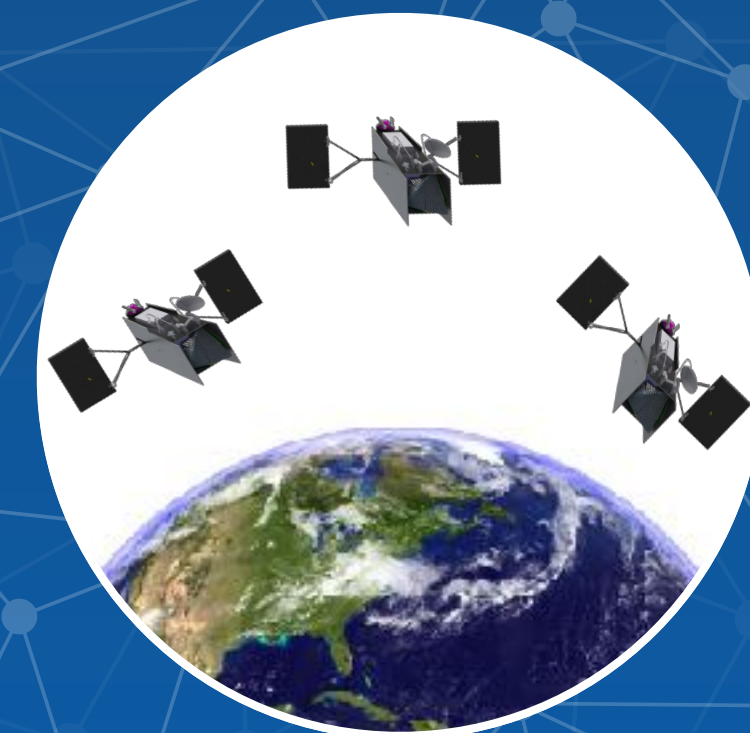
業務用機器の 自動運転を実現





情報革命の同志的結合グループへ

SoftBank
Vision Fund



さらなる成長への兆し

Sprint





1. IFRSの適用について

2013年度よりIFRS（国際会計基準）を適用しています。2012年度についてもIFRSに準拠して表示しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) : 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA(IFRS) : 売上高 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費 + 減価償却費及び償却費

EBITDA(日本基準) : 営業損益+減価償却費+のれん償却費

有利子負債(IFRS) : 借入金+社債+リース債務+割賦購入による未払金+コマーシャル・ペーパー+優先出資証券

有利子負債(日本基準) : 借入金+社債+コマーシャル・ペーパー。リース債務を含まず。

純有利子負債 : 有利子負債-手元流動性

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンクグループ株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。

本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。